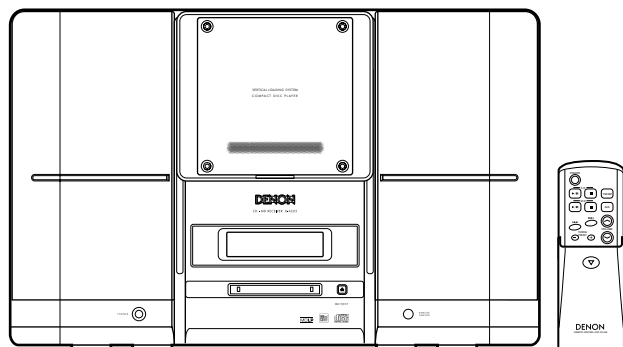
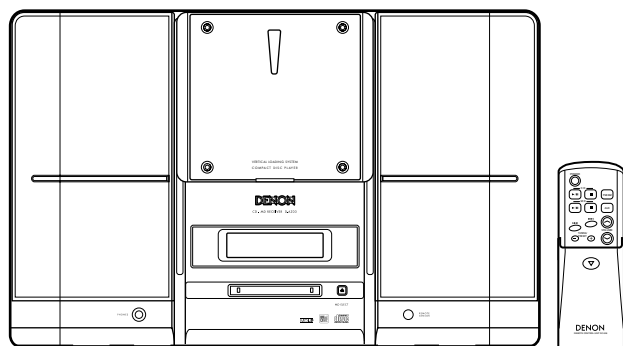
DENON
取扱説明書

D-AZ03

PERSONAL AUDIO SYSTEM

パーソナル オーディオ システム

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

通風孔やディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

警 告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口やカセットテープ挿入口に手を入れない

指を挟まれないように注意

特に幼いお子様にご注意ください。
けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
指定以外の電池は使用しないでください。
また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。
また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。
ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注 意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次のような使いかたはしないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 仰向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

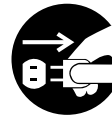
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

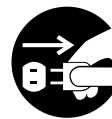
まずディスクを取り出し、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどをのせたまま移動しないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

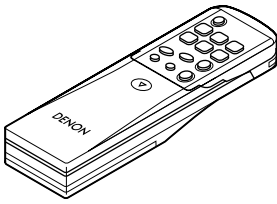
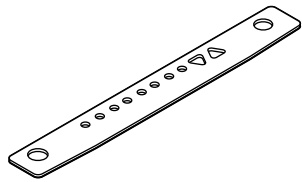
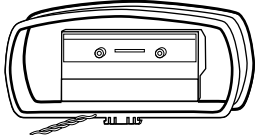
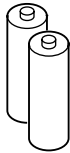
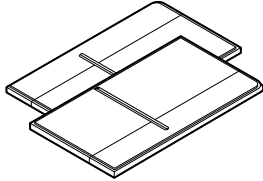
■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 主な特長

1．MDの2倍・4倍長時間録音/再生『MDLP』対応
高性能な圧縮・伸長処理により、標準録音の2倍・4倍の長時間録音がステレオで可能となり、1枚のMDに最大320分（80分ディスク使用時）まで録音することができます。（☞ P.36）

2．CD→MD倍速録音＆充実した編集機能
CDからMDへ、倍速で録音ができます。
（☞ P.36）
また、デジタル録音レベルコントロールにより、CDの録音レベルを調整することもできます。
（☞ P.40）

3．グループ機能対応
MDディスクに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録することができます。
（☞ P.42）

4．重低音回路内蔵
SDB（スーパーダイナミックバス）をONにすると迫力ある重低音が楽しめます。
（☞ P.28）

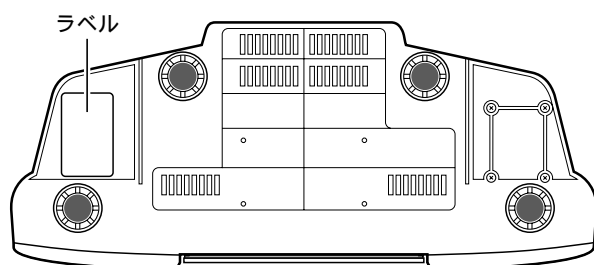
5．交換可能なサランネット
付属のサランネットと交換が可能です。
お部屋や季節に合わせて交換できます。
（☞ P.14）

6．見やすい日本語テンプレート
本体操作ボタン部用に日本語のテンプレートを付属。分かりやすい日本語表示にできます。
（☞ P.14）

3 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

FM用アンテナ　1本	リモコン（RC-984）　1個	日本語テンプレート　1枚
AM用ループアンテナ　1個	単3形乾電池　2本	サランネット　1セット
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書 （梱包箱に貼り付けられています。）

★電気用品安全法に基づく表示

ご注意
- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

4 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

5 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

■従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

■使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先
（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03（5353）0336

（社）日本音楽著作権協会（JASRAC）

支部	電話
本部	☎ 03（3481）2121
北海道支部	☎ 011（221）5088
盛岡支部	☎ 019（652）3201
仙台支部	☎ 022（264）2266
長野支部	☎ 026（225）7111
大宮支部	☎ 048（643）5461
上野支部	☎ 03（3832）1033
東京支部	☎ 03（3562）4455
西東京支部	☎ 03（3232）8301
東京イベント・コンサート支部	☎ 03（5286）1671
立川支部	☎ 042（529）1500
横浜支部	☎ 045（662）6551
静岡支部	☎ 054（254）2621
中部支部	☎ 052（583）7590
北陸支部	☎ 076（221）3602
京都支部	☎ 075（251）0134
大阪支部	☎ 06（6244）0351
神戸支部	☎ 078（322）0561
中国支部	☎ 082（249）6362
四国支部	☎ 087（821）9191
九州支部	☎ 092（441）2285
鹿児島支部	☎ 099（224）6211
那覇支部	☎ 098（863）1228

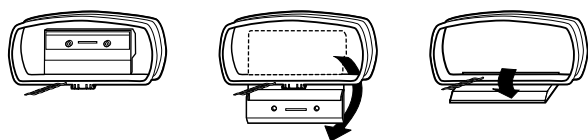
6 接続のしかた

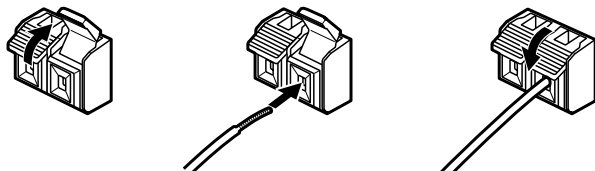
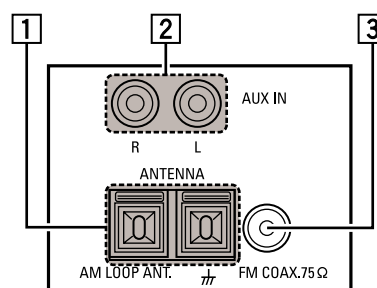
ご注意

- ●すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- ●電源プラグはしっかり差し込んでください。
 不完全な接続は、雑音発生の原因となります。
- ●接続コード（ピンコード）と電源コードを一緒に束ねたり、テレビなど他の電気製品の近くに接続コード（ピンコード）を設置すると、ハムや雑音の原因となることがあります。

（1）アンテナの接続とオーディオ機器のつなぎかた

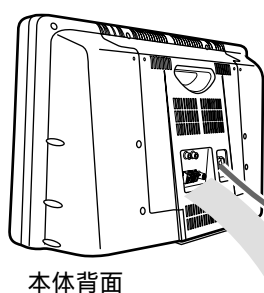
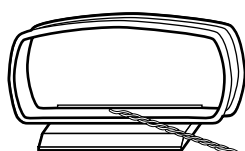
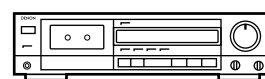
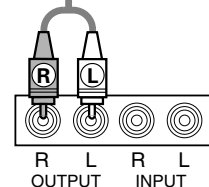
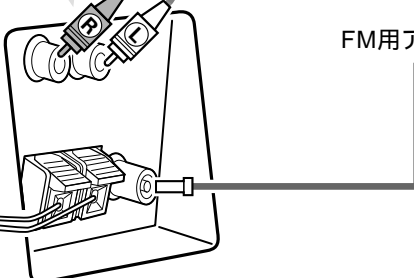
■AM用ループアンテナの組み立てかた

1．取り出す。　2．曲げる。　3．穴に差し込む。

■AM用ループアンテナのつなぎかた

1．レバーを上げる。　2．コードを差し込む。　3．レバーを下げる。

背面部の名称と接続

1 AMループアンテナ端子
付属のAM用ループアンテナを接続します。

2 外部入力端子

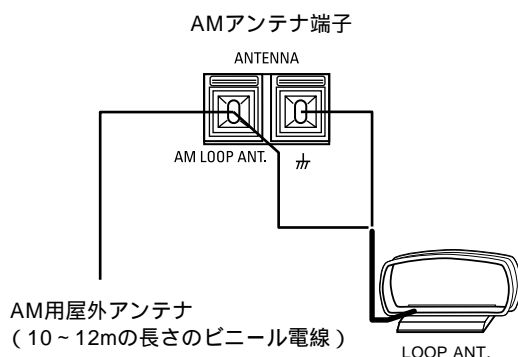
3 FMアンテナ端子

オーディオ機器のつなぎかた

外部入力端子に接続された機器を再生する場合には、本体のTUNER/AUXボタンまたはリモコンの外部入力切り替えボタンで入力を『AUX』に切り替えてください。

（2）アンテナの設置のしかた

AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信（25ページ参照）し、音を聞きながら本機からできるだけ離して、歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。
AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することができません。

AM用屋外アンテナのつなぎかた

AM用屋外アンテナの信号線をAMアンテナ端子（AM ANTENNA）に接続してください。
付属のAM用ループアンテナは、必ず接続しておいてください。

FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信（25ページ参照）し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。
付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナの接続をおすすめします。

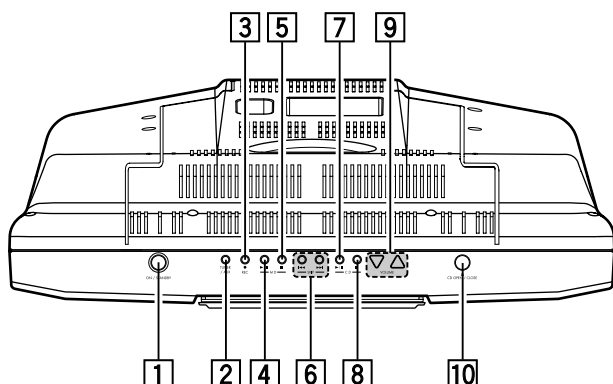
FM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときは、FM用屋外アンテナを使用して同軸ケーブルを本機のFMアンテナ端子（FM ANTENNA）に接続してください。

屋外アンテナを立てる場所について

- 放送局の受信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できるところに立てて方向を変えてください。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

7 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル

1 電源操作ボタン（ON/STANDBY）
- 押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態になります。

2 チューナー/オキシャルボタン（TUNER/AUX）
- 押すと入力が次のように切り替わります。

FM(STEREO) → FM(MONO) → AM → AUX

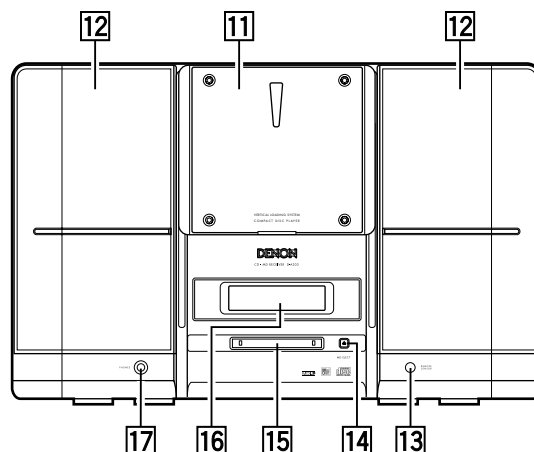
3 MD録音ボタン（REC）
- MDを録音するときに使います。

4 MDプレイ/ポーズボタン（MD ▶/II）
- 押すと入力が『MD』に切り替わり、MDが挿入されている場合は、再生がはじまります。
- 再生中に押すと、一時停止します。

5 MD停止ボタン（MD ■）
- MDの再生や録音を停止するときに使います。
- ファンクションを『MD』に切り替えるときに押します。

6 スキップボタン（I◀◀/▶▶I）
- 再生している曲の頭出しをするときに使います。
- 放送局を選ぶときに使います。

7 CDプレイ/ポーズボタン（CD ▶/II）
- 押すと入力が『CD』に切り替わり、CDが装着されている場合は、再生がはじまります。
- 再生中に押すと、一時停止します。

8 CD停止ボタン（CD ■）
- CDの再生や録音を停止するときに使います。
- ファンクションを『CD』に切り替えるときに押します。

9 音量調節ボタン（VOL. UP/DOWN）
- 音量を調節するときに使います。

10 CDドアオープン/クローズボタン（CD OPEN/CLOSE ⏏）
- 押すとCDドアが下がり、もう一度押すとCDドアが上がります。

11 CDドア
- CDドアオープン/クローズボタンを押すと、ドアが下がり、CDを装着することができます。

12 サランネット
- 付属のサランネットと交換することができます。

13 リモートセンサー（REMOTE SENSOR）
- 付属のリモコンをこのセンサーに向けて操作してください。

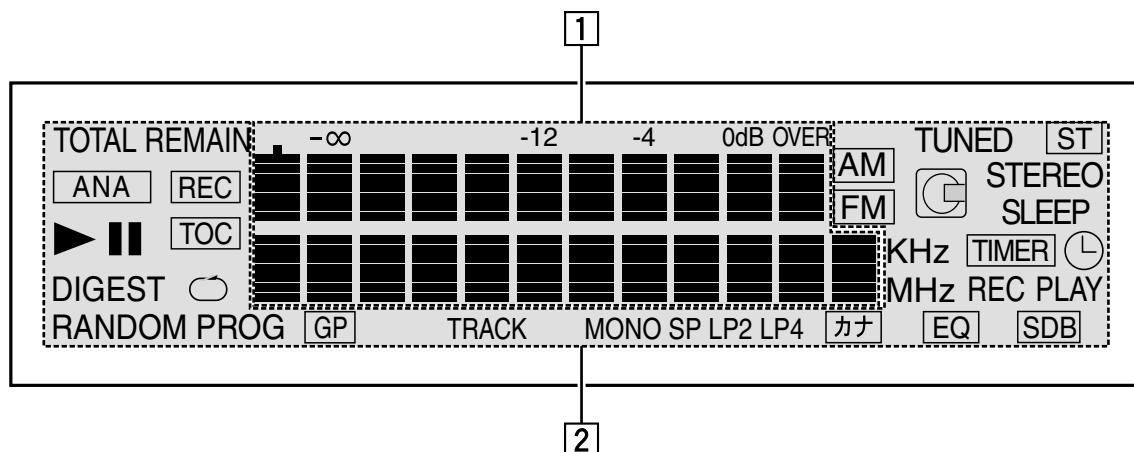
14 MDイジェクトボタン（⏏）
- MDを取り出すときに使います。
- 編集操作をおこなった場合には、MDを取り出す前に自動的にTOCの書き込みがおこなわれます。

15 MD挿入口
- 電源が入っている状態でMDを差し込むと、自動的に引き込みます。
- MDは正しい方向に差し込んでください。

16 ディスプレイ
- 11ページを参照してください。

17 ヘッドホンジャック（PHONES）
- 市販のヘッドホンでお楽しみいただくときに使います。
- ヘッドホンプラグを差し込むと、ヘッドホンからのみ聞こえ、スピーカーから音は出ません。

各部の名前とはたらき（つづき）

(2) ディスプレイ

1 メイン表示部

- 各種ファンクション、時計およびタイマーの設定時刻などを表示します。
- ファンクションをCDまたはMDに切り替えたときには以下の表示をします。

曲番表示部（TRACK）※ディスクがあるとき
停止状態：ディスクに収録されている総曲数
再生およびプログラム再生状態：再生中の曲番

時間表示部　※ディスクがあるとき
停止状態：ディスクに収録されている総時間
再生およびプログラム再生状態：再生中の経過時間

- 音量調節時には音量レベルを表示します。

2 各種モード表示部

ANA　：デジタルコピーできないCDをアナログ録音するときに点灯します。（☞ P.34）

REC　：録音中に点灯します。

▶　：再生中に点灯します。

❚❚　：一時停止中に点灯します。

TOC　：TOCの書き込み中に点滅します。

DIGEST　：ダイジェスト再生中に点灯します。

（リピートマーク）　：リピート再生中に点灯します。

RANDOM：ランダム再生中に点灯します。

PROG　：プログラム再生中に点灯します。

GP　：グループモード中に点灯します。

MONO　：モノラル録音をするときに点灯します。モノラル録音されたディスクを再生するときに点灯します。

SP、LP2、LP4：録音モード状態を表示します。
・SP ：ステレオ録音表示
・LP2：2倍長時間録音表示
・LP4：4倍長時間録音表示

カナ　：カナ入力するときに点灯します。

AM　：AM放送受信モードのときに点灯します。

FM　：FM放送受信モードのときに点灯します。

TUNED　：放送を受信したときに点灯します。

ST　：ステレオ放送を受信したときに点灯します。

（MDマーク）　：MDがセットに入っているときに点灯します。

STEREO　：チューナー受信がステレオモードになっているときに点灯します。

SLEEP　：スリープタイマー設定時に点灯します。

TIMER　：タイマー設定時に点灯します。

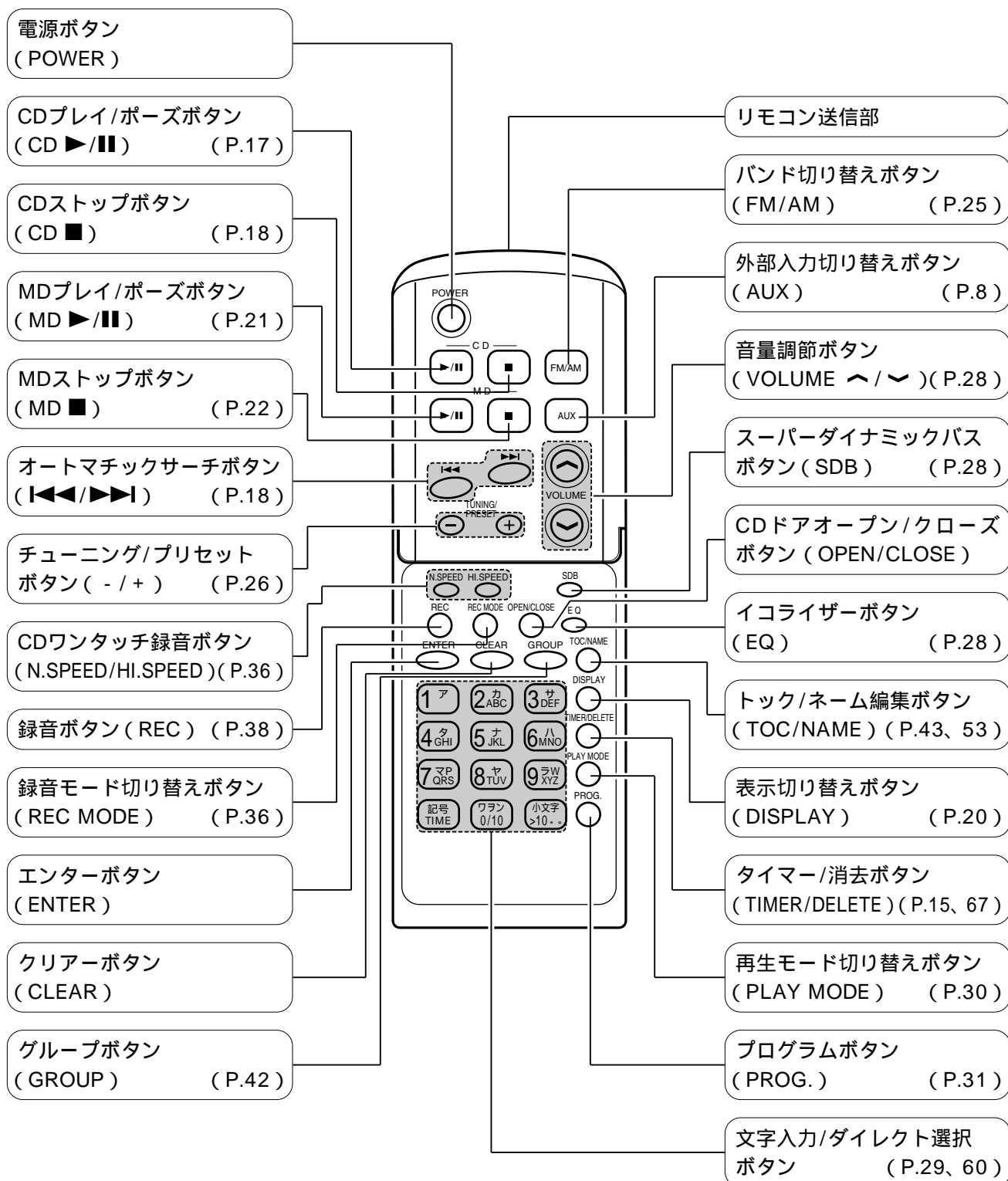
（時計マーク）　：エブリデイタイマー設定時に点灯します。

REC　：タイマー録音設定時に点灯します。

PLAY　：タイマー再生設定時に点灯します。

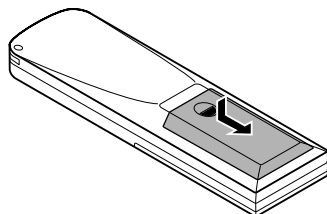
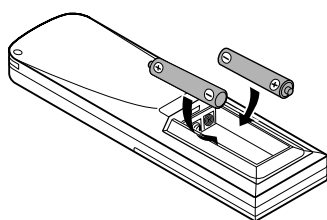
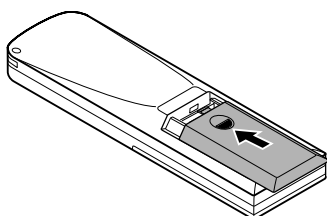
EQ、SDB：
現在設定されている音質の状態を表示します。

各部の名前とはたらき（つづき）

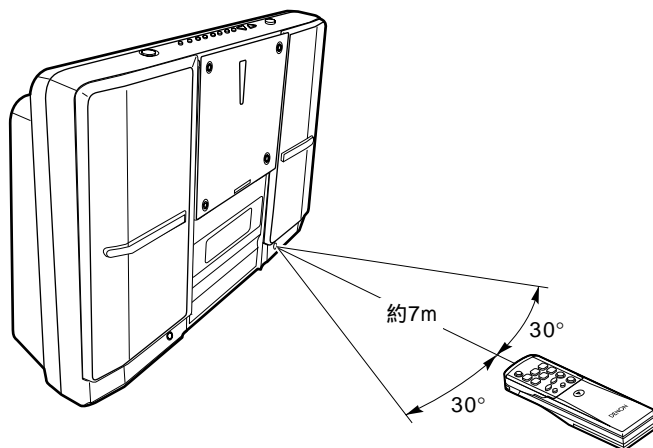
(3) リモコンボタンの名前とはたらき

8 リモコンについて

★付属のリモコン（RC-984）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

（1）乾電池の入れかた

①リモコンの裏ぶたを外してください。

②単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

（2）リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったりリモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 °までの範囲で操作できます。

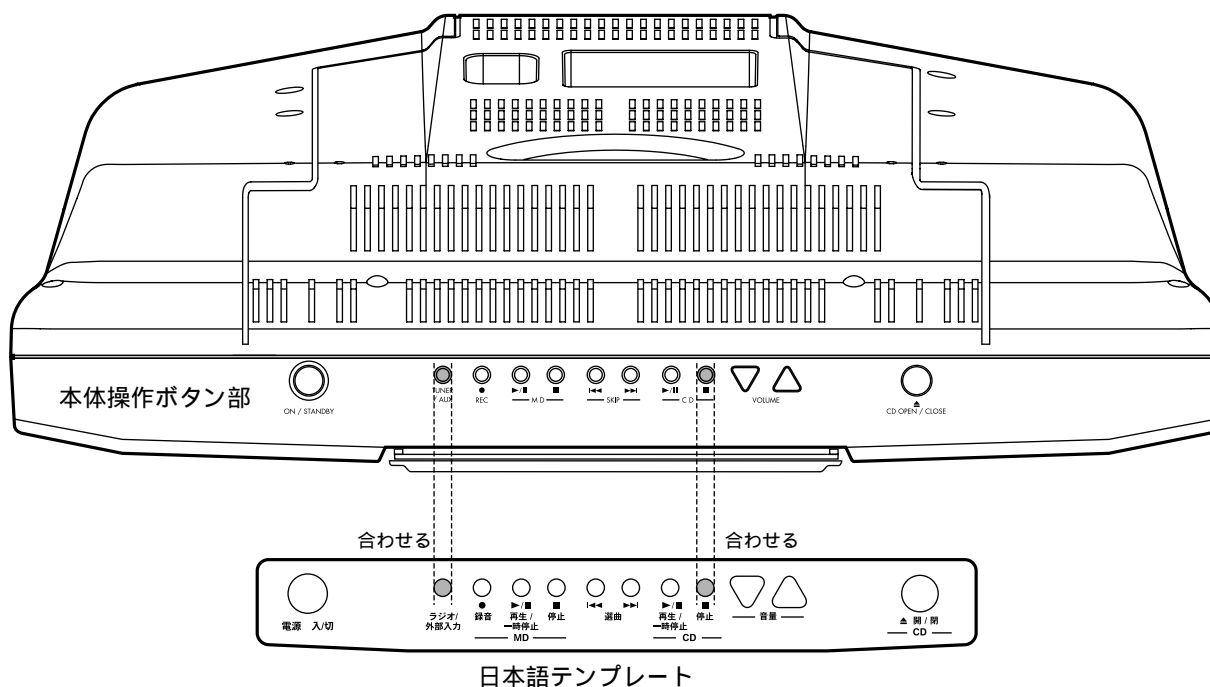
ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因となります。

9 日本語テンプレートの貼り付けかた

★ 本体操作ボタン部用に日本語のテンプレート貼り付け、分かりやすい日本語表示にできます。

① 日本語テンプレート裏側2ヵ所の両面テープの保護紙をはがします。

② 日本語テンプレートのラジオ/外部入力の穴と本体のTUNER/AUXボタンを合わせ、
さらに日本語テンプレートのCD停止ボタンの穴と本体のCD停止ボタンを合わせて貼り付けます。

10 サランネットの交換のしかた

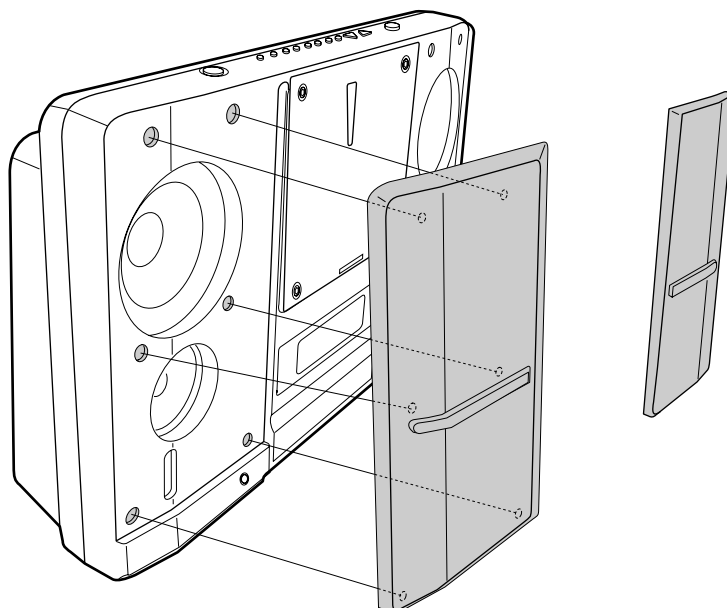
★ サランネットは左右それぞれ6ヵ所で固定されています。

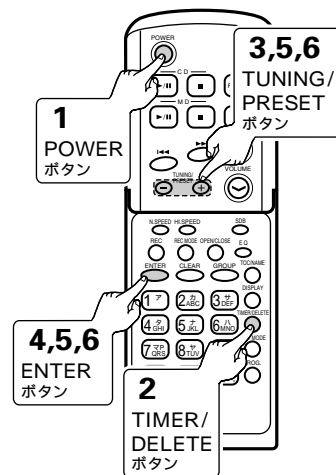
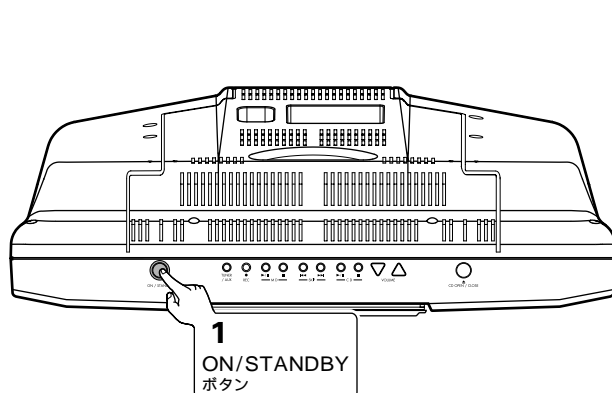
■ 取り外すときは

本体に装着されているサランネットをまっすぐ手前に引いてください。

※ サランネットを外すときには、上また下側のみを引っ張らずに均一にまっすぐ手前に引いてください。

■ 取り付けるときは

交換用サランネットの取り付け部の突起を本体の穴部に合わせて押し込んでください。

11 時計の合わせかた

(1) 時刻の合わせかた

[例] 現在時刻を午後7時30分に合わせるとき

1 ON / STANDBY(本体) または POWER(リモコン) **を押して、電源を入れる。**

2 TIMER/DELETE(リモコン) **を押す。**

SLEEP 1:00

3 **10秒以内に** TUNING/PRESET ⊖ ⊕(リモコン) **を押して、**

"TIME ADJUST"(タイム アジャスト) を選ぶ。

TIME ADJUST

4 **10秒以内に、** ENTER(リモコン) **を押す。**

AM12:00

5 TUNING/PRESET ⊖ ⊕(リモコン) **を押して時の桁を『PM 7』に合わせ、**

ENTER(リモコン) **を押す。**

PM 7:00

『時』を合わせる

6 TUNING/PRESET ⊖ ⊕(リモコン) **を押して分の桁を『30』に合わせ、**

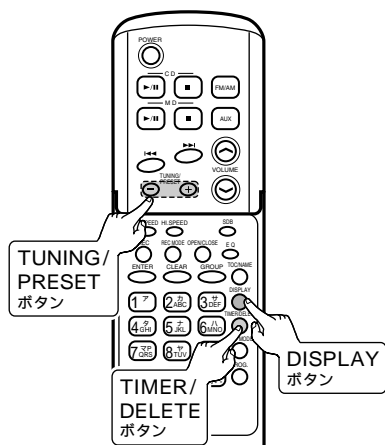
ENTER(リモコン) **を押す。**

- 約1.5秒たつと、元の表示に戻ります。

PM 7:30

『分』を合わせる

時計の合わせかた（つづき）

（2）時刻を確認するには

【電源が『ON（オン）』のとき】

1 TIMER/DELETE ○（リモコン） を押す。

2 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン） を押して、時刻を表示させる。

- 約10秒たつと、元の表示に戻ります。

【電源が『STANDBY（スタンバイ）』のとき】

1 DISPLAY ○（リモコン） を押す。

- 約30秒間バックライトが点灯し、時刻を確認することができます。

2 「（1）時刻の合わせかた」（15ページ参照）をおこなっていないとき

- “ AM 12:00 ” が点滅します。

3 「（1）時刻の合わせかた」（15ページ参照）をおこなっているとき

- 現在の時刻が表示されます。

（3）時刻を修正するには

操作1より再度、時計の設定をおこなってください。

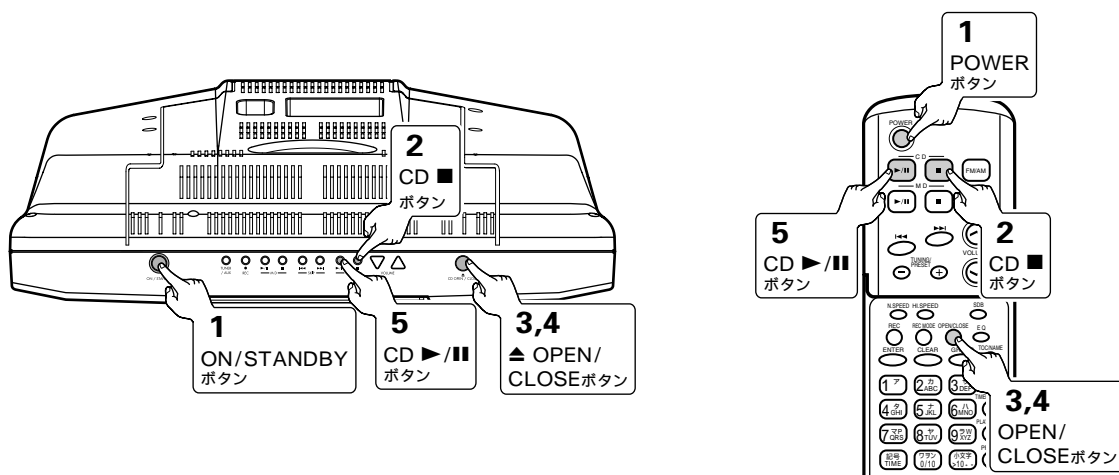
※このとき、操作**2**では “ STANDBY（スタンバイ） ” が表示され、操作**3**では現在の設定時刻が表示されます。

ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは時計の設定は消えてしまいます。（このとき、時刻表示全体が点滅します。）
表示が点滅状態のときは各種タイマー動作が正しく機能しないため、時計の設定をおこなってください。

12 CDの聞きかた

(1) 再生のしかた

1 ON / STANDBY（本体）（または POWER（リモコン））**を押して、電源を入れる。**

2 CD ■（本体）（または CD ■（リモコン））**を押して、入力を『CD』にする。**

CD NO DISC
SP

3 ⏏ CD OPEN / CLOSE（本体）（または OPEN/CLOSE（リモコン））**を押す。**

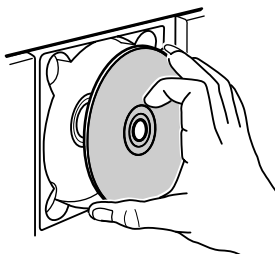
- CDドアが開きます。

CD OPEN
SP

4 CDを入れ、 ⏏ CD OPEN / CLOSE（本体）（または OPEN/CLOSE（リモコン））**を押す。**

- CDドアが閉じます。

CDの入れかた

印刷面を手前にして、CDをセンターの取り付け部に押し付けて装着してください。

総曲数　総再生時間

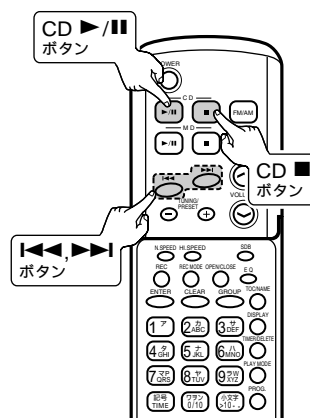
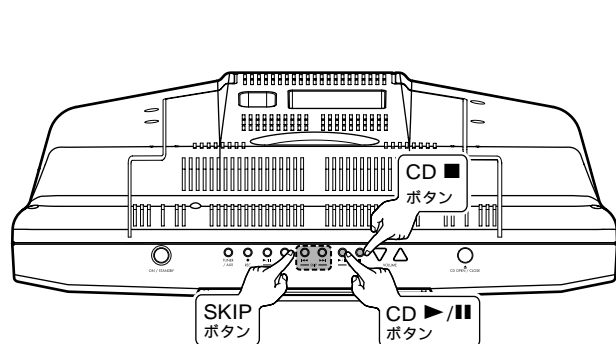
5 ►/II CD（本体）（または CD ►/II（リモコン））**を押して、再生を始める。**

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

※CDドアが開いているときに ►/II CD（本体）（または CD ►/II（リモコン））を押すと、CDドアは自動的に閉じます。

CDの聞きかた（つづき）

(2) 停止するには

再生中に CD ■（本体）（または CD ■（リモコン））**を押す。**

TOTAL CD 16 72:31 TRACK SP

(3) 一時停止するには

再生中に ►/II CD（本体）（または CD ►/II（リモコン））**を押す。**

※もう一度押すと、止めた位置から再生します。

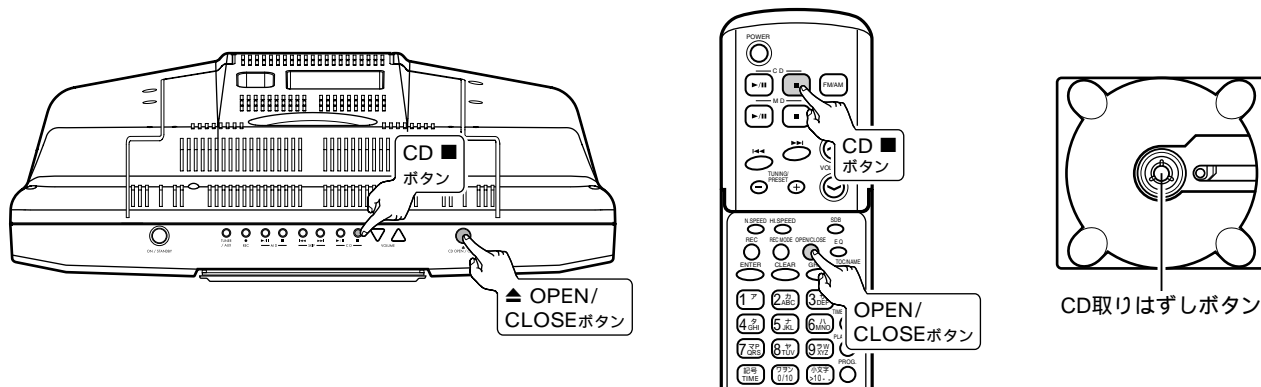
II PAUSE CD 3 1:23 TRACK SP

(4) 曲の頭出しをするには

【今聞いている曲の頭から再生するとき】	【次の曲の頭から再生するとき】
再生中に I◄◄ SKIP（本体）（または I◄◄（リモコン））**を1回押す。**	**再生中に** SKIP ►►I（本体）（または ►►I（リモコン））**を1回押す。**
【前の曲番を選ぶとき】	**【次の曲番を選ぶとき】**
停止中に I◄◄ SKIP（本体）（または I◄◄（リモコン））**を押す。** ※押し続けると、次々と前の曲番へ移動します。	**停止中に** SKIP ►►I（本体）（または ►►I（リモコン））**を押す。** ※押し続けると、次々と後ろの曲番へ移動します。

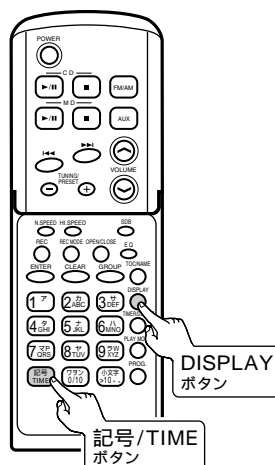
※停止中に聞きたい曲番を表示させた後で再生を始めると、その曲の最初から再生を始めます。
※リモコンのダイレクト選択ボタンを使って曲番を選ぶこともできます。（☞ P.29）

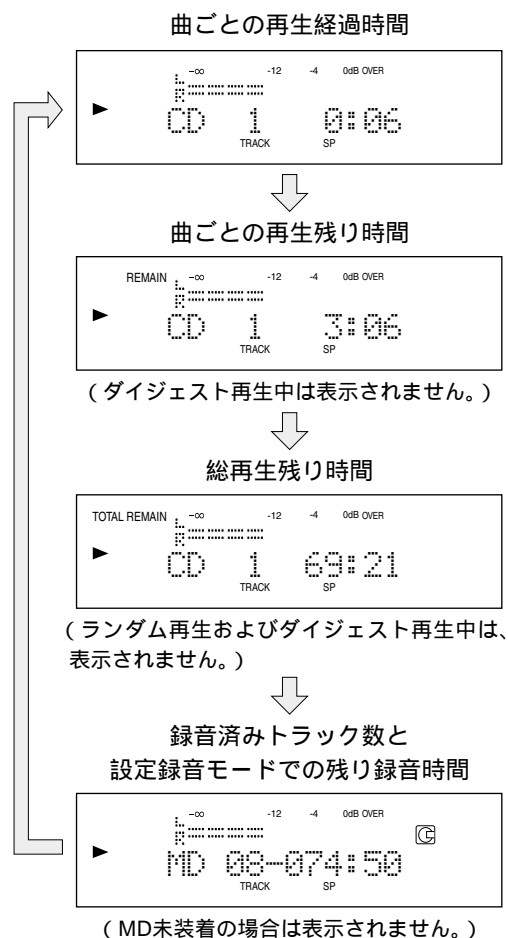
CDの聞きかた（つづき）

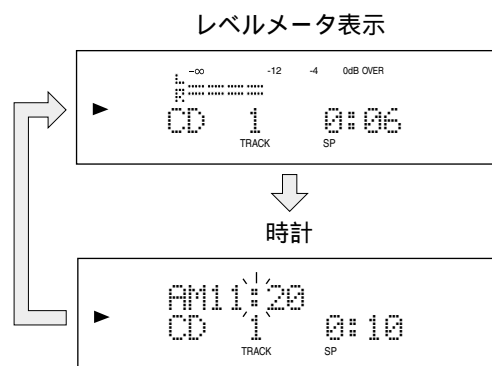
（5）CDを取り出すには

●CDドアが開いてから、CD取りはずしボタンを押して取り出します。

※CDを取り出した後は CD OPEN / CLOSE（本体）（または OPEN/CLOSE（リモコン））を押して、CDドアを閉じておいてください。

CDを装着する際のご注意

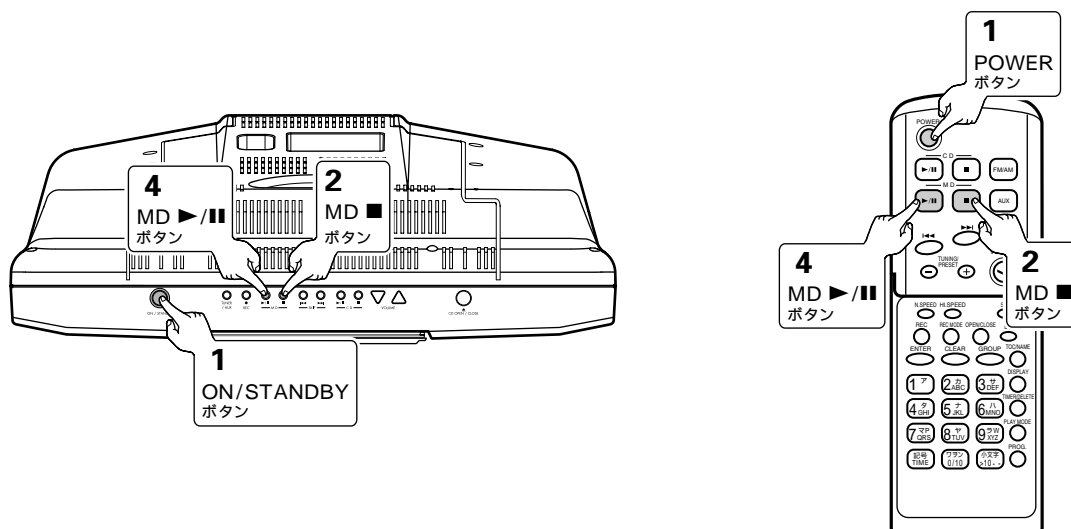
- CDは1枚だけ装着してください。
  2枚以上重ねて装着しますと故障の原因となり、CDを傷つけることにもなります。
- CDドアは、手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。故障の原因となります。
  また、開閉中に指などを挟まないように注意してください。
- ひび割れ・変形または接着剤などで補修したCDは使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみだしたり、はがしたあとがあるものは使用しないでください。そのまま使用しますとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

（6）再生中に時間表示を切り替えるには

再生中に 記号 TIME （リモコン） をくり返し押す。

（7）レベルメータを時計表示に切り替えるには

DISPLAY （リモコン） をくり返し押す。

※時計表示にすると、再生中はその表示のままになります。
※時計が未設定の場合は時計表示に切り替わりません。

13 MDの聞きかた

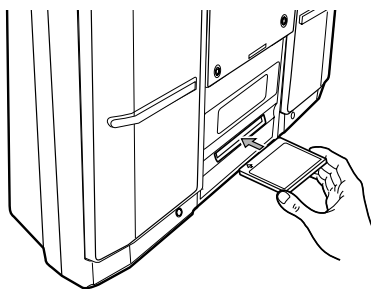
(1) 再生のしかた

1 ON / STANDBY（本体）（または POWER（リモコン））**を押して、電源を入れる。**

2 MD ■（本体）（または MD ■（リモコン））**を押して、入力を『MD』にする。**

MD NO DISC

3 MDを入れる。

MDの入れかた

MD上面の矢印の向きに従って、MD挿入口に差し込んでください。
MDは自動的に引き込まれます。

- 🄶 が点灯します。

（ディスク名が記録されているMDのみ表示されます。ディスク名が入っていないMDは " NO TITLE " が表示されます。）

4 ►/II MD（本体）（または MD ►/II（リモコン））**を押して、再生を始める。**

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

（曲名が入っていないMDは " NO NAME " が表示されます。）

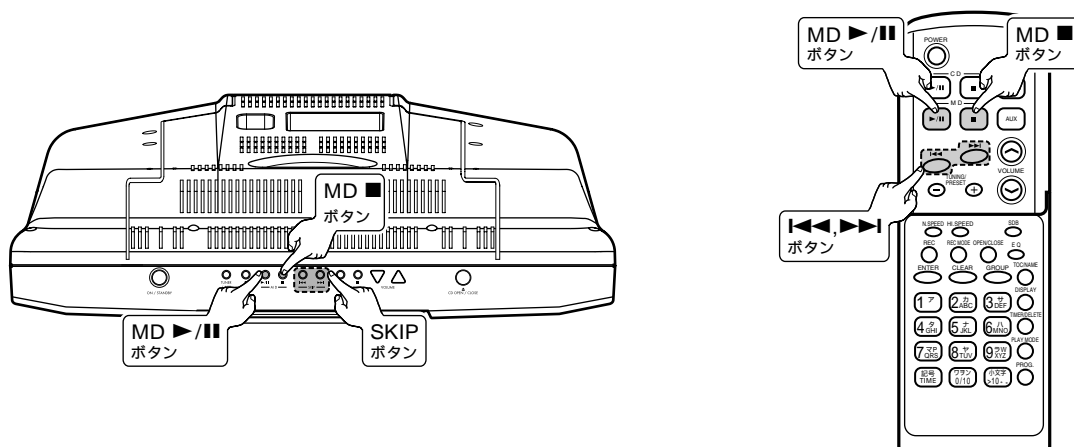
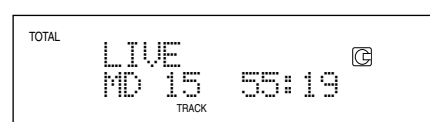
MDの聞きかた（つづき）

（2）停止するには

再生中に ■ MD（本体）（または ■ MD（リモコン））**を押す。**

（3）一時停止するには

再生中に ►/II MD（本体）（または ►/II MD（リモコン））**を押す。**

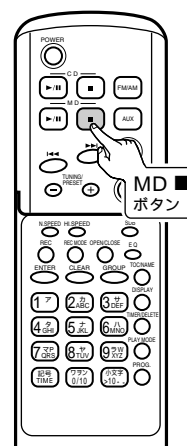
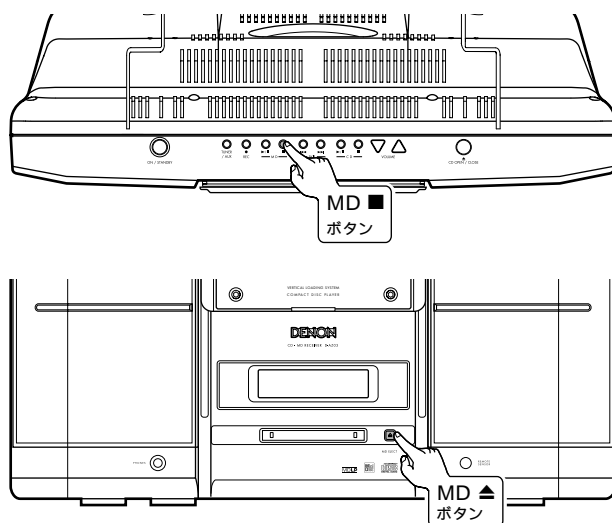
II PAUSE MD 5 2:15 TRACK LP2

※もう一度押すと、止めた位置から再生します。

（4）曲の頭出しをするには

【今聞いている曲の頭から再生するとき】	【次の曲の頭から再生するとき】
再生中に I◄◄ SKIP（本体）（または I◄◄（リモコン））**を1回押す。**	**再生中に** SKIP ►►I（本体）（または ►►I（リモコン））**を1回押す。**
【前の曲番を選ぶとき】	**【次の曲番を選ぶとき】**
停止中に I◄◄ SKIP（本体）（または I◄◄（リモコン））**を押す。** ※押し続けると、次々と前の曲番へ移動します。	**停止中に** SKIP ►►I（本体）（または ►►I（リモコン））**を押す。** ※押し続けると、次々と後ろの曲番へ移動します。

※停止中に聞きたい曲番を表示させた後で再生を始めると、その曲の最初から再生を始めます。

※リモコンのダイレクト選択ボタンを使って曲番を選ぶこともできます。（☞ P.29）

MDの聞きかた（つづき）

（5）MDを取り出すには

■（または ■ ）**を押してMDを停止させた後、**

```
MD  EJECT
```

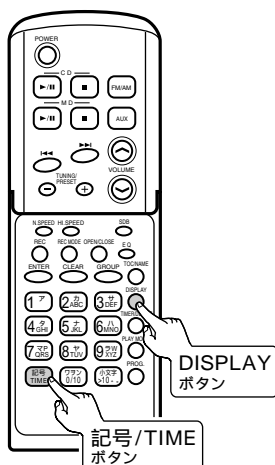
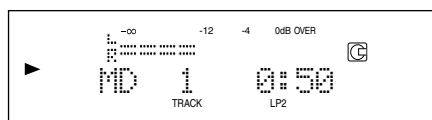
MD EJECT（本体）**を押す。**

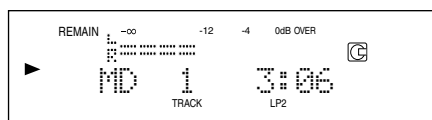
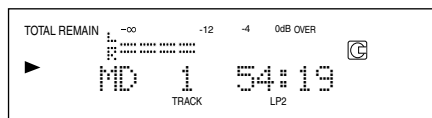
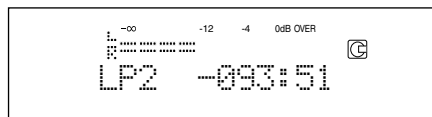
```
MD NO DISC
```

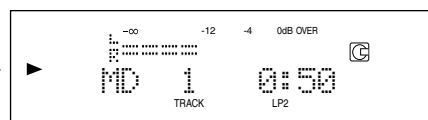
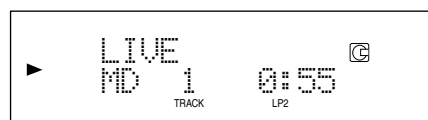
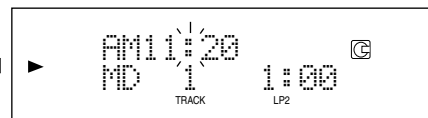
● MDが自動的に排出されます。
● ⓒ が消灯します。

ご注意

●MDを入れるときは、必ず電源を入れてください。電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。

●製品を移動させるときは、必ずMDを取り出してください。
MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

（6）再生中に時間表示を切り替えるには

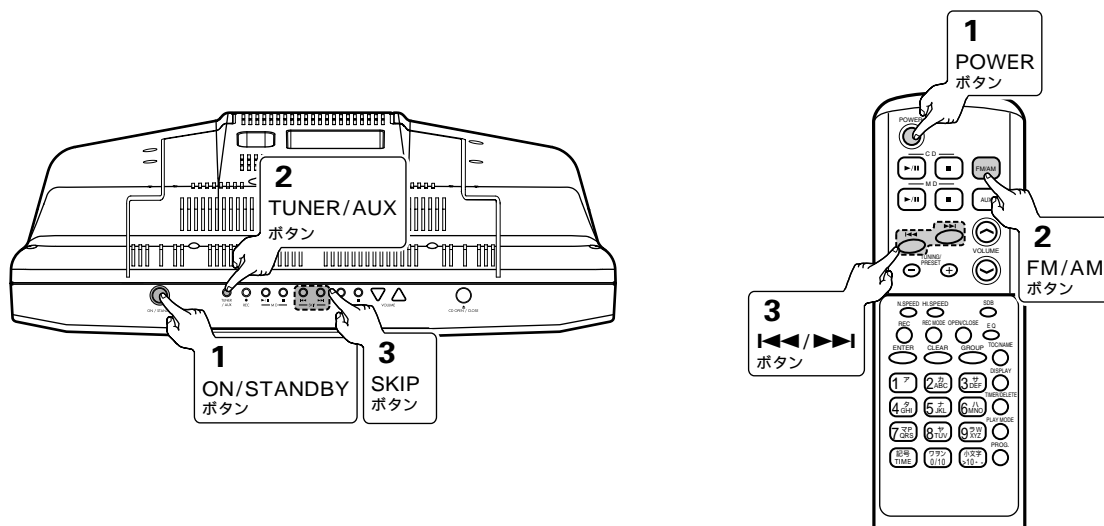
再生中に 記号/TIME（リモコン） をくり返し押す。

（7）再生中に曲名表示や時計表示に切り替えるには

再生中に DISPLAY（リモコン） をくり返し押す。

※表示を切り替えると、再生中はその表示のままになります。

※時計が未設定の場合は時計表示に切り替わりません。

14 ラジオ放送の聞きかた

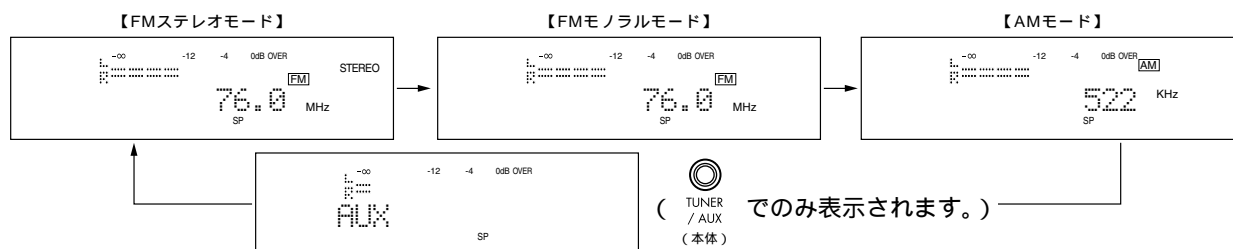
（1）選局のしかた

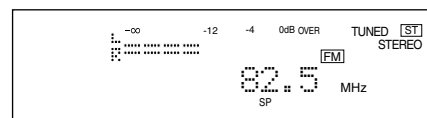
★本機はFMワイドバンド仕様で通常のFM放送のほか、テレビの1〜3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。

［例］受信周波数を『FM 82.5MHz』に合わせるとき

1 ON / STANDBY（本体）（または POWER（リモコン））**を押して、電源を入れる。**

2 TUNER / AUX（本体）（または FM/AM（リモコン））**を押して、『FM』を選ぶ。**

※ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

【FMステレオモード】 → 【FMモノラルモード】 → 【AMモード】 → AUX（TUNER / AUX（本体）でのみ表示されます。）

3 ⏮ ⏭ SKIP（本体）**または** ⏮ ⏭（リモコン）**を押して、**

受信周波数を『82.5MHz』に合わせる。

◎**自動同調**（オートチューニング）：

ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

オートチューニングを止めるときは、もう一度 ⏮ ⏭（リモコン） を押してください。

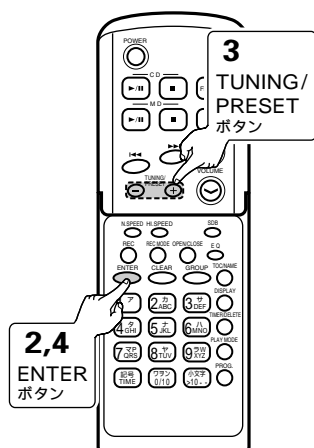
◎**手動同調**（マニュアルチューニング）：

ボタンを小刻みに押して、希望する放送局を受信します。

◎**テレビ放送の受信周波数：**

1チャンネル=95.75MHz / 2チャンネル=101.75MHz　/ 3チャンネル=107.75MHz

（2）放送局を登録するには

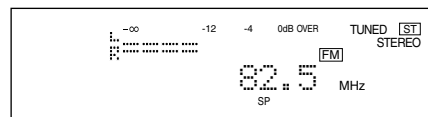
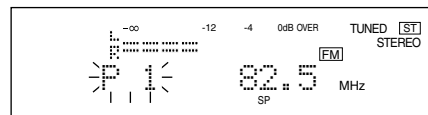
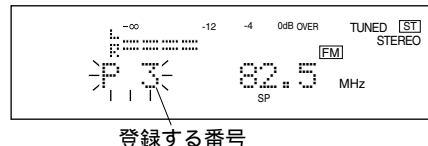
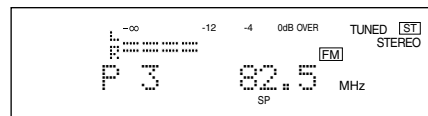
★放送局は、AM放送・FM放送を合わせて、40局まで登録できます。

［例］選局した『FM 82.5MHz』をプリセット番号『3』に登録するとき

1 **登録したい放送局『FM 82.5MHz』を受信する。**

2 ENTER（リモコン）**を押して、登録モードにする。**

3 **5秒以内に** TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）**を押して、登録する番号『3』を表示させる。**

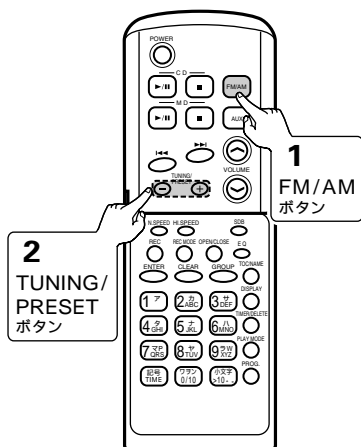
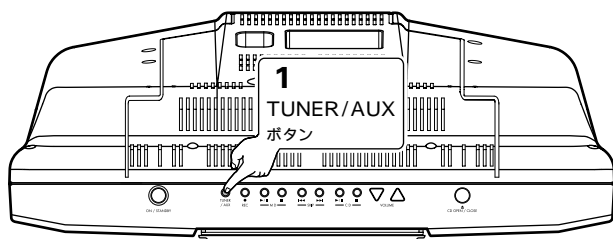
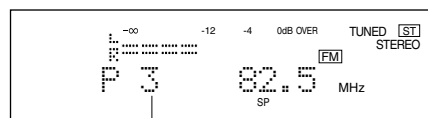
登録する番号

4 **5秒以内に** ENTER（リモコン）**を押す。**

※すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

※**他の放送局を登録するときは、操作*1*からの手順をくり返してください。**

ラジオ放送の聞きかた（つづき）

（3）登録した放送局を呼び出すには

［例］（2）で設定したプリセット番号『3』の放送局を聞く

1 **電源を入れて、** TUNER / AUX（本体）（または FM/AM（リモコン））**を押す。**

2 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）**を押して、登録した番号を選ぶ。**

登録した番号

※ **リモコンのダイレクトボタンを使って選局することもできます。**

■1〜10局目を選局するとき

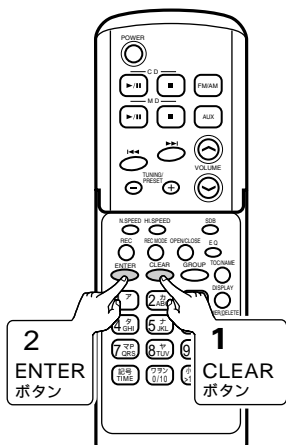
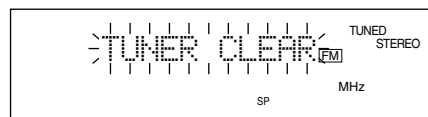
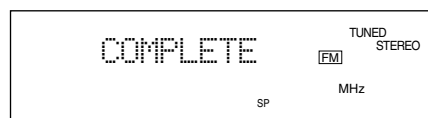
1ア（リモコン） 〜 ワヲン 0/10（リモコン） で登録した番号を選ぶ。

■11〜40を選局するとき

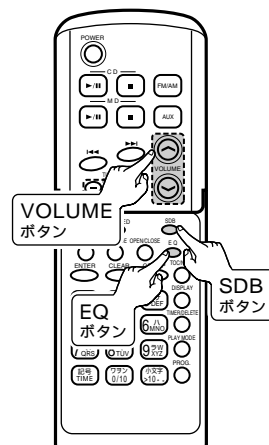
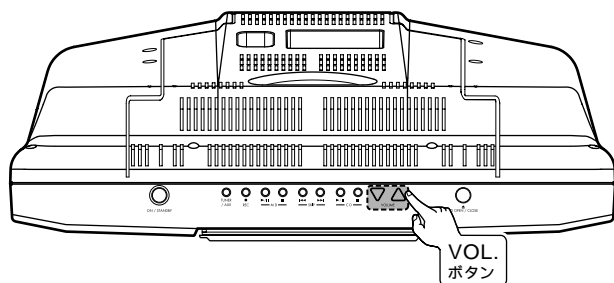
小文字 >10（リモコン） を押した後、登録した番号を選ぶ。

例）28局目　小文字 >10（リモコン） → 2カ ABC（リモコン） 8ヤ TUV（リモコン）

※ ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

（4）登録した放送局をすべて取り消すには

ご注意

1日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。
そのときは、もう一度登録し直してください。

15 音量や音質の調整のしかた

(1) 音量を調節するには

(2) 重低音を強調するには

(3) 音質を変えるには

16 CDやMDのいろいろな聞きかた

(1) 聞きたい曲から聞く 『ダイレクト再生』

1

CDを操作するとき

CDを入れてから、

を押す。

MDを操作するとき

MDを入れてから、

を押す。

2 [1ア](リモコン) ～ [小文字 >10](リモコン) **を押して、聞きたい曲番を選ぶ。**

●選んだ曲から再生が始まります。

■11～99曲目を選ぶとき

[小文字 >10](リモコン) を押した後、曲番を選ぶ。

例）28曲目 [小文字 >10](リモコン) → [2カ ABC](リモコン) [8ヤ TUV](リモコン)

20曲目 [小文字 >10](リモコン) → [2カ ABC](リモコン) [ワヲン 0/10](リモコン)

■100曲目以降を選ぶとき（MDのみ）

[小文字 >10](リモコン) を2回押した後、曲番を選ぶ。

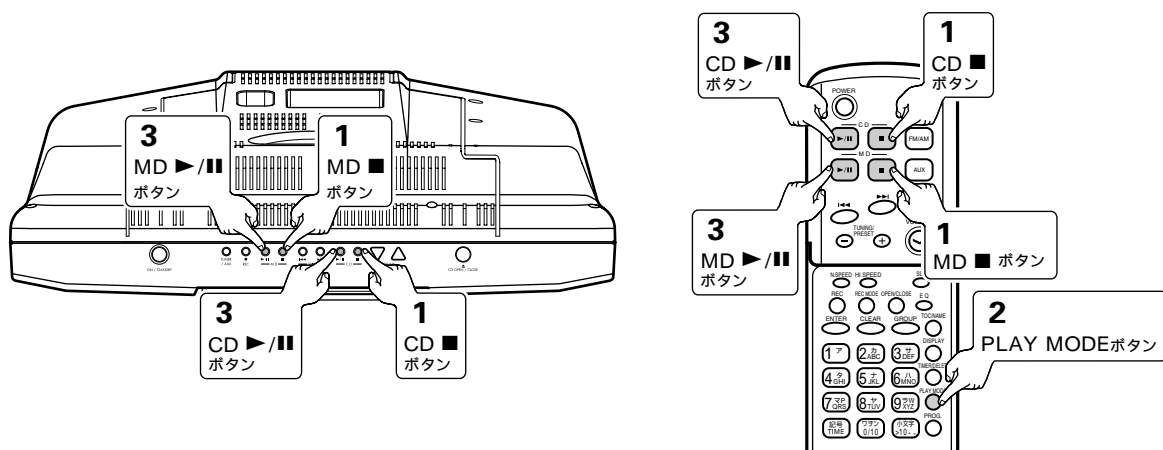
例）105曲目 [小文字 >10](リモコン) [小文字 >10](リモコン) → [1ア](リモコン) [ワヲン 0/10](リモコン) [5ナ JKL](リモコン)

※ダイレクトボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

※ランダム再生やプログラム再生を設定しているときは、ダイレクト選曲はできません。

CDやMDのいろいろな聞きかた（つづき）

（2）くり返して聞く・順不同で聞く・曲の先頭90秒だけ聞く『リピート再生 / ランダム再生 / ダイジェスト再生』

1

CDを操作するとき

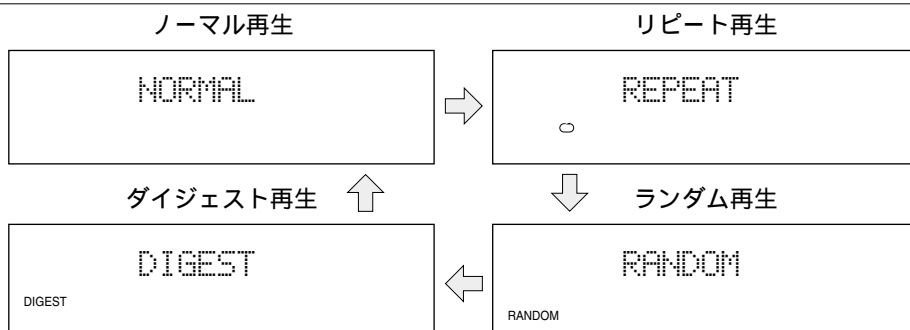
CDを入れてから、

■（または ■ ）**を押す。**

MDを操作するとき

MDを入れてから、

■（または ■ ）**を押す。**

2 PLAY MODE（リモコン）**を押して、再生モードを選ぶ。**

3 再生を始める。

CDを操作するとき

►/II CD（本体）（または ►/II CD（リモコン））**を押す。**

MDを操作するとき

►/II MD（本体）（または ►/II MD（リモコン））**を押す。**

- **ノーマル再生のとき**　：最後の曲を再生すると、停止します。
- **リピート再生のとき**　：再生を止めるまで続きます。
- **ランダム再生のとき**　：すべての曲を順不同に再生すると、停止します。
- **ダイジェスト再生のとき**：先頭から90秒再生してフェードアウト、そして次の曲へ移動を最終トラックまで繰り返します。

※ ノーマル再生に戻すときは、PLAY MODE（リモコン）をくり返し押して、“NORMAL（ノーマル）”を選んでください。

※ 聞きたい1曲だけをくり返して聞くには、プログラム再生で1曲登録した後にリピート再生をします。

ご注意

- プログラム再生を設定しているときは、ランダム再生およびダイジェスト再生はできません。
- ダイジェスト再生中はMD編集はできません。

CDやMDのいろいろな聞きかた（つづき）

(3) 好きな曲だけを記憶させて聞く　『プログラム再生』

★プログラムは20曲まで登録することができます。
　20曲を超えて登録すると、"OVER P20" が表示されます。
★グループ再生モードでのプログラム再生はできません。（☞ P.42）

1

CDを操作するとき

CDを入れてから、

■ CD（本体）（または CD ■（リモコン））**を押す。**

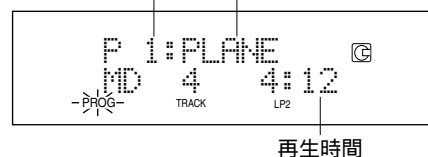
MDを操作するとき

MDを入れてから、

■ MD（本体）（または MD ■（リモコン））**を押す。**

2 PROG.（リモコン）**を押す。**

3 1 ア（リモコン）～ 小文字 >10（リモコン）**を押して、聞きたい曲番を選ぶ。**

※曲番を間違えたときは、登録中に CLEAR（リモコン） を押すと、
　最後に選んだ曲が取り消されます。
　続けて押すと、順に取り消されます。

4 3の操作をくり返して、聞きたい曲番を順に選ぶ。

※CDの場合、プログラム総再生時間が400分以上を超えると " --：-- " が表示されますが記憶はされています。

次のページにつづく

CDやMDのいろいろな聞きかた（つづき）

5 登録が終わったら、

CDを操作するとき

■ CD（本体）（または CD ■（リモコン)）**を押す。**

MDを操作するとき

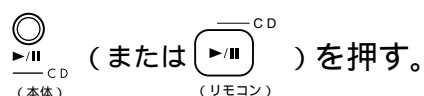
■ MD（本体）（または MD ■（リモコン)）**を押す。**

6 再生を始める。

CDを操作するとき

►/II CD（本体）（または ►/II CD（リモコン)）**を押す。**

MDを操作するとき

►/II MD（本体）（または ►/II MD（リモコン)）**を押す。**

- 最後に登録している曲の再生が終わると、自動的に停止します。

登録した順番を確かめるには

停止中に ⏮ SKIP（本体） **または** SKIP ⏭（本体）

（⏮（リモコン） または ⏭（リモコン)）**を押す。**

- ボタンを押すたびに、登録した曲番が順に表示されます。

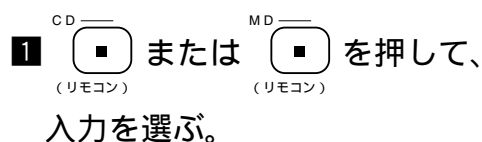
曲を追加するには

1～5の操作をくり返す。

※前に選んでいる曲の後に追加されます。
（曲の順番を入れ替えることはできません。）

登録を取り消すには

1 CD ■（リモコン） **または** MD ■（リモコン） **を押して、入力を選ぶ。**

2 停止中に CLEAR（リモコン） **を押す。**

CDまたはMDの全曲の登録が取り消されます。
（CDやMDを取り出したときも、登録は取り消されます。）

曲名（曲番）を確認しながら登録するには

1 ■ CD（本体） **または** ■ MD（本体）（CD ■（リモコン） または MD ■（リモコン)）

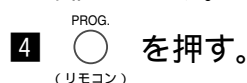
を押して、入力を選ぶ。

2 PROG.（リモコン） **を押す。**

3 ⏮ SKIP（本体） **または** SKIP ⏭（本体）（⏮（リモコン） または ⏭（リモコン)）

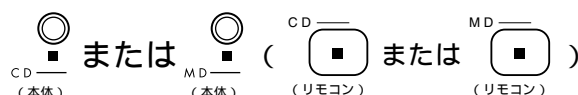
を押して、聞きたい曲番を選ぶ。

このときMDに曲名が入っていれば、曲名が確認できます。

4 PROG.（リモコン） **を押す。**

5 上記の3～4の操作をくり返して、曲番を登録する。

6 登録が終わったら、

■ CD（本体） **または** ■ MD（本体）（CD ■（リモコン） または MD ■（リモコン)）

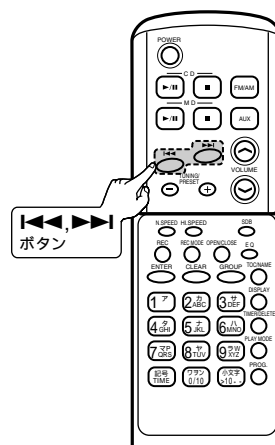
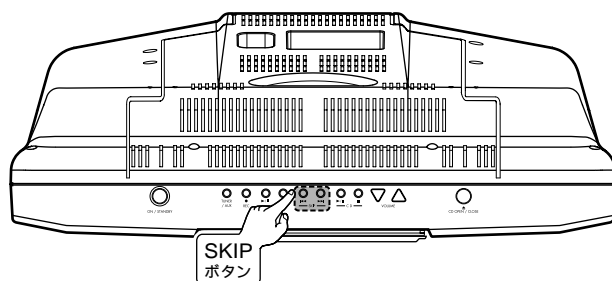
を押す。

ご注意

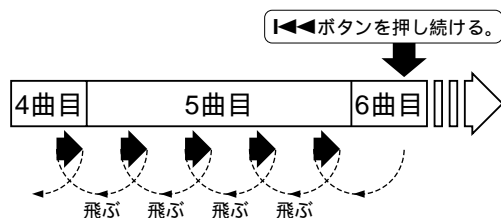
- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり取り消すことはできません。
- CDをプログラム再生して、好きな曲だけを録音することができます。

CDやMDのいろいろな聞きかた（つづき）

（4）再生中に聞きたい位置を探す　『早戻し/早送り』

曲を早く戻すには（早戻し）

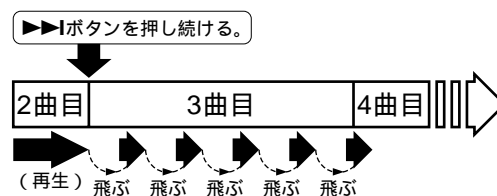
再生中に ◀◀ SKIP（本体） または ◀◀（リモコン） を

押し続ける。

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最初の曲の頭まで戻すと、通常の再生になります。

※一時停止中に早戻しの操作をすると、再生中より早く戻すことができます。
この場合音が出ませんので、時間表示を目安にしてください。

曲を早く送るには（早送り）

再生中に ▶▶ SKIP（本体） または ▶▶（リモコン） を

押し続ける。

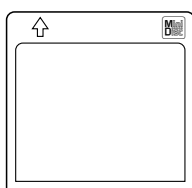
- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最後の曲の終わりまで送ると、"END（エンド）" が表示されます。

※一時停止中に早送りの操作をすると、再生中より早く送ることができます。
この場合音が出ませんので、時間表示を目安にしてください。

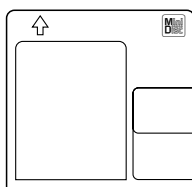
17 MDの録音のしかた

MDについて

- MDはコンパクトなサイズで、最大80分（ステレオ）の再生や録音ができます。
- MDには、再生専用MDと再生/録音用MDがあります。
- 本機で再生や録音ができるMDは、右のマークがついているものです。

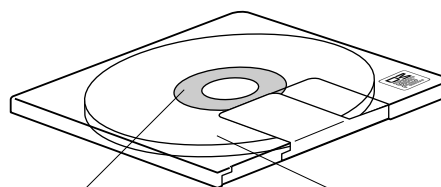
再生専用MD

- 再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
- 再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。
- 曲の編集などはおこなえません。

再生/録音用MD

- 再生や録音が可能なMDで、光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
- 書き替えも可能です。

長時間録音（MDLP）

MDLPとは音声圧縮技術ATRACK3により、既存のディスクに2倍/4倍の長時間ステレオ録音、再生を可能にするミニディスクの新圧縮フォーマットです。
80分ディスクを使用すればLP2モードで最長160分、LP4モードでは最長320分のステレオ録音が楽しめます。

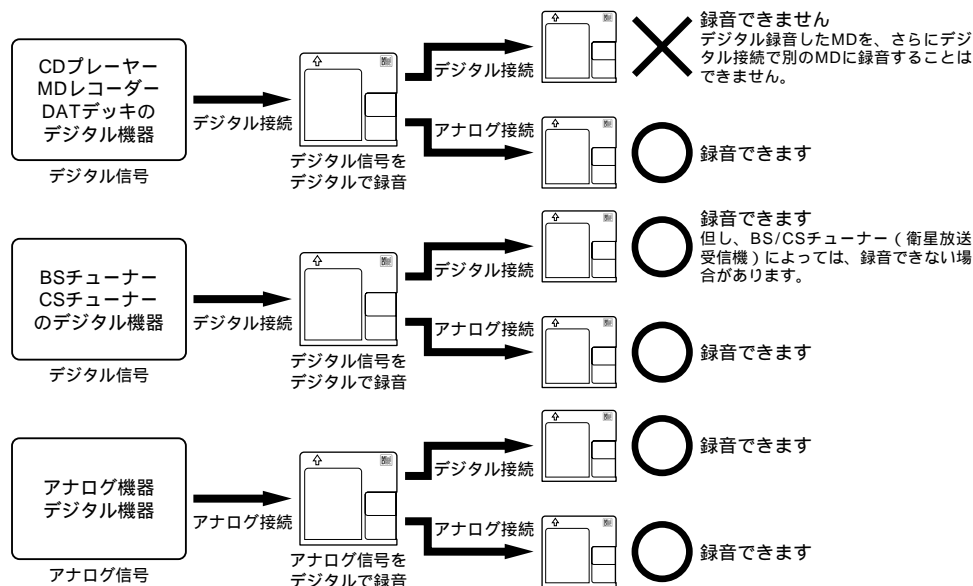
MDの書き込みについて

MDには、曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。

■TOC（トック）とは

MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。
このTOCは、編集の後にMD停止ボタン（■）を押す操作とMDイジェクトボタン（⏏）を押してMDを排出する操作および電源操作ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにMDに書き込まれます。また、TOCは録音が終わったときや録音を途中で止めるために停止ボタンを押したときにもMDに書き込まれます。
書き込みをはじめると、“ TOC ” 表示が点滅します。このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。TOCが正しく書き込まれずに録音や編集した内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

MDの録音のしかた（つづき）

デジタルコピーについて

デジタル入力でCDなどを録音したCD-RやMDをさらに別のCD-RやMDなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。

※本機ではデジタル録音できないCDとCD-RをMDにワンタッチ録音する場合には、自動的に定速でアナログ録音されます。（ディスプレイに“ ANA ”が表示されます。（☞ P.11））
アナログ録音では倍速での録音や録音レベルの調整はできません。

曲番について

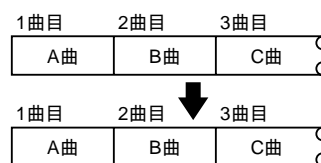
■CDからMDに録音したとき

CDについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的につきます。

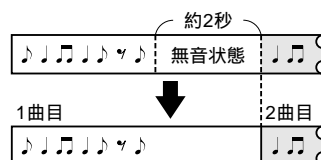
●CDからMDに録音したときにCDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

1曲目	2曲目	3曲目
A曲	B曲	C曲

↓

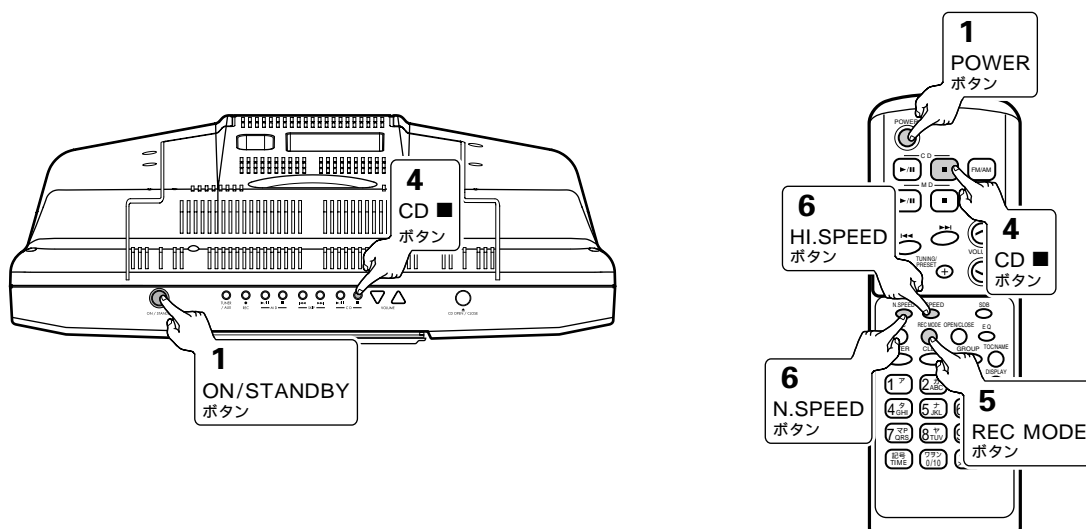
1曲目	2曲目	3曲目
A曲	B曲	C曲

■アナログでMDに録音したとき

約2秒の無音部分を曲間として、曲番が自動的につきます。
（**オートトラックインクリメント機能**）

●信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置に曲番がつかないこともあります。

録音のはじめかた

- 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。
- 録音済みのMDの内容をすべて消去して、MDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（☞ P.56）
- 録音をおこなうときは、誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（☞ P.75）

MDの録音のしかた（つづき）

(1) CDからMDへ録音する　『ワンタッチ録音』

1 ON / STANDBY（本体）（または POWER（リモコン））**を押して、電源を入れる。**

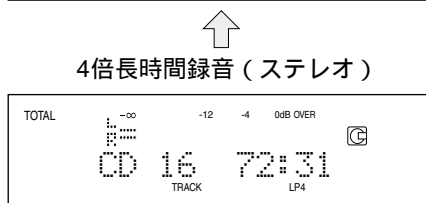
2 再生するCDを入れる。

3 録音用MDを入れる。

4 CD ■（本体）（または CD ■（リモコン））**を押して、入力を『CD』にする。**

5 REC MODE（リモコン）**を押して、録音モードを選ぶ。**

モノラル録音　ステレオ録音

4倍長時間録音（ステレオ）　2倍長時間録音（ステレオ）

※録音中は切り替えができません。

※録音モードは次に変更するまで変わりません。

表示	録音モード	録音時間 （80分のMDに録音する場合）
SP	ステレオ録音	最大　80分
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）	最大160分
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）	最大320分
MONO	モノラル録音	最大160分

次のページにつづく

MDの録音のしかた（つづき）

6 録音を始める。

倍速で録音するとき

HI.SPEED（リモコン）を押す。

定速で録音するとき

N.SPEED（リモコン）を押す。

● 録音が終わると、CDとMDが自動的に停止します。

※ 録音可能時間が録音したい曲の時間より少ない場合は、録音可能な曲数と録音できない曲数がくり返し表示されます。

"TTL（トータル） ＊＊（録音可能な曲数） ＊＊：＊＊（時間の合計）""OVR（オーバー） ＊＊（録音できない曲数） ＊＊：＊＊（時間の合計）"

録音可能な曲のみを録音する場合には、もう一度 HI.SPEED（リモコン） または N.SPEED（リモコン） を押してください。

※ MDディスクの録音可能時間で1曲も録音できない場合"EDIT（エディット） OVER（オーバー）"が表示され、録音が解除されます。

録音を停止するには

を押す。

● CDとMDが停止した後、MDに曲番を書き込みます。

※ 録音中に一時停止することはできません。

MDの4倍長時間録音についてのご注意

4倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。音質を重視する録音をおこなうときには、ステレオ録音（SP）または2倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

ご注意

● 2倍・4倍長時間録音した曲は、2倍4倍長時間再生に対応していない機器で再生すると、曲名の頭に"LP"が表示され、無音状態になります。（機器によっては動作・表示が異なる場合があります。）

● CDの傷・汚れや録音状態により、倍速で録音したMDに音切れが生じることがあります。このときは定速で録音してください。

録音モードや録音残り時間を確かめるには

停止中に入力を『MD』にして、 REC MODE（リモコン） をくり返し押す。

ステレオ録音モードでの録音残り時間

LIVE
SP -032:35

2倍長時間録音モードでの録音残り時間

LIVE
LP2 -065:10

4倍長時間録音モードでの録音残り時間

LIVE
LP4 -130:21

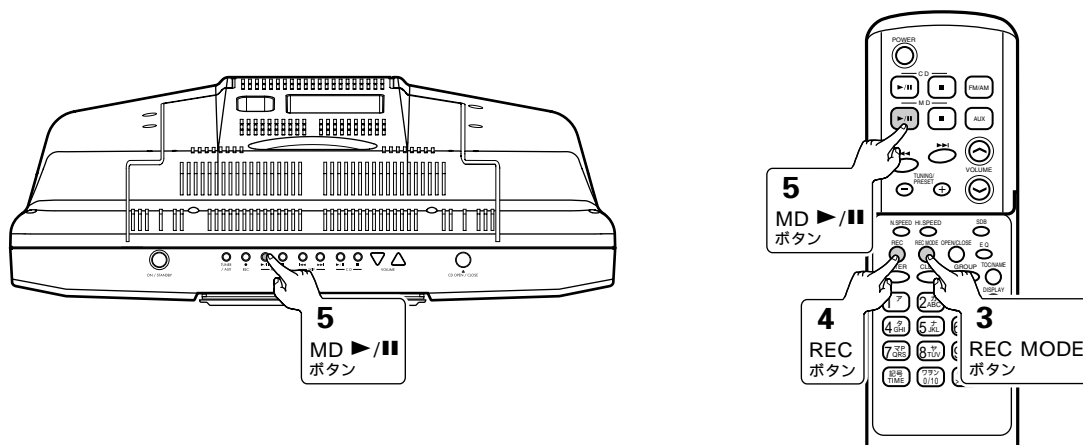
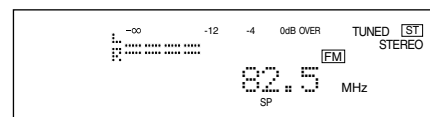
モノラル録音モードでの録音残り時間

LIVE
MONO-065:10

● 録音残り時間を表示した後、元の表示に戻ります。

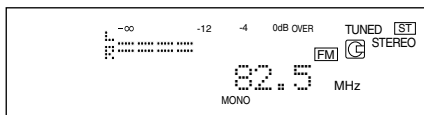
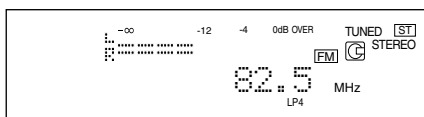
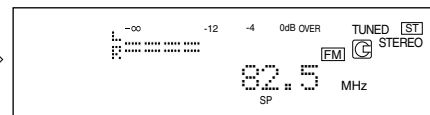
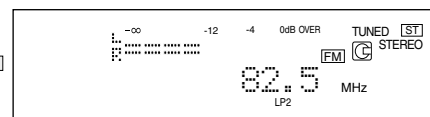
※ 次に録音するときは、ここで確認したモードで録音を始めてください。

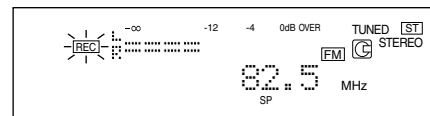
MDの録音のしかた（つづき）

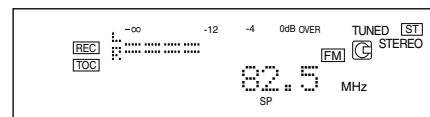
（2）ラジオ放送をMDへ録音する

1 **録音したい放送局を受信する。**

2 **録音用MDを入れる。**

3 REC MODE（リモコン） **を押して、録音モードを選ぶ。**

※録音中は切り替えができません。

※録音モードは次に変更するまで変わりません。

モノラル録音 → ステレオ録音 → 2倍長時間録音（ステレオ） → 4倍長時間録音（ステレオ）

4 REC（リモコン） **を押す。**

●録音のスタンバイ状態になります。

5 ►/II MD（本体）（または ►/II MD（リモコン））**を押して、録音を始める。**

●MDの録音残り時間がなくなると、MDは自動的に停止します。

MDの録音のしかた（つづき）

録音を一時停止するには

録音中に ►/II MD（本体）（または MD ►/II（リモコン））**を押す。**

※もう一度押すと、録音を再開します。

録音を停止するには

録音中に MD ■（本体）（または MD ■（リモコン））**を押す。**

● MDに曲番を書き込んだ後、MDが停止します。

録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で REC（リモコン）**を押す。**

● 曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。

※曲番をつけた後、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

録音中に録音可能時間を確認するには

録音中または録音スタンバイ状態で
記号 TIME（リモコン）を押す。

● 録音可能時間が表示されます。

録音中：

記号 TIME（リモコン）をくり返し押し続けると

総再生残り時間の次に表示されます。

録音スタンバイ状態：

記号 TIME（リモコン）を押すと録音可能時間が表示されます。

（3）倍速録音の制約について

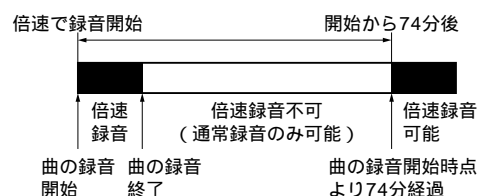
CDからMDへ録音をするとき通常の半分の時間で録音することができます。（倍速録音）
倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

■ 著作権保護を目的とした制約
CDからMDへ一度倍速録音をした後、再び同じCDから倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要になります。

● 同じCDは、1回目の倍速録音を開始してから、74分経過した後で2回目の倍速録音が開始できます。

● 同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

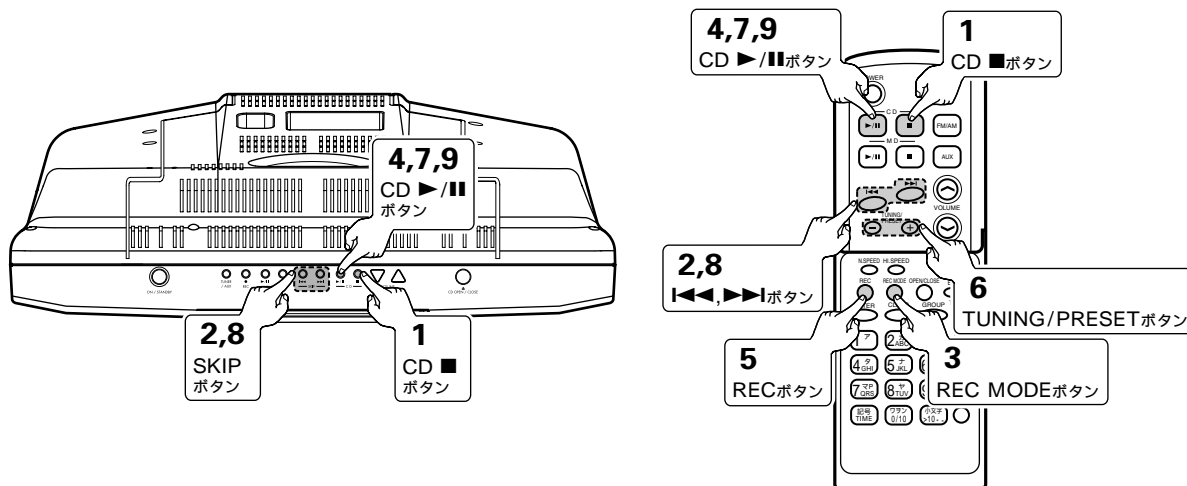
次のようなときも、74分間は倍速で録音することができません。

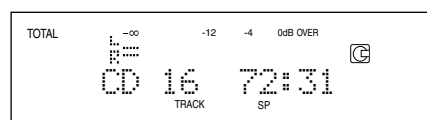
● 倍速録音を途中で止めたり、1曲でも倍速録音したCDから、再び録音しようとしたとき。
● 20枚のCDから倍速録音した後、21枚目を録音しようとしたとき。

ご注意

●倍速の録音中は、通常の2倍の速度でCDの音が再生されます。
●倍速の録音中に、音量・音質などを調整することができますが、録音される音声は変わりません。

18 MDのいろいろな録音のしかた

(1) 録音レベルを調整して録音する

★CDやAUXからMDに録音するとき、録音レベルの調整ができます。(チューナーの録音レベルの調整はできません。)

[例] CDから録音レベルを調整して録音するとき

1 CD ■(本体) または ■(リモコン) **を押して、入力を『CD』にする。**

TOTAL CD 16 72:31 TRACK SP

2 I◄◄ SKIP(本体) または SKIP ►►I(本体) (I◄◄(リモコン) または ►►I(リモコン)) **を押して、録音したい曲番を選ぶ。**

CD 8 4:04 TRACK

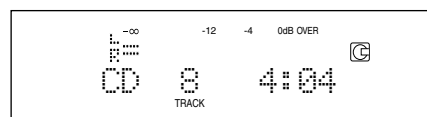
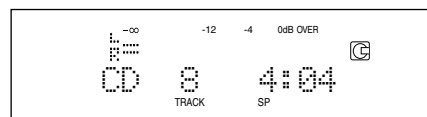
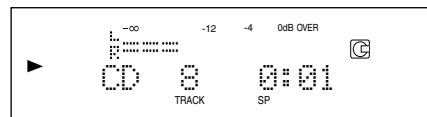
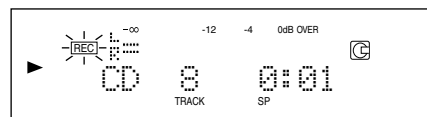
3 REC MODE(リモコン) **を押して、録音モードを選ぶ。**

CD 8 4:04 TRACK SP

4 ►/II CD(本体) または ►/II(リモコン) **を押して、CDを再生する。**

► CD 8 0:01 TRACK SP

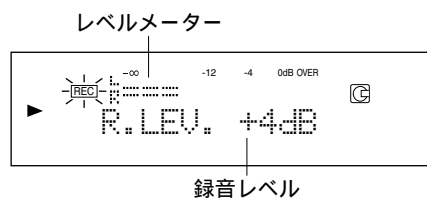
5 REC(リモコン) **を押して、録音の一時停止にする。**

► REC CD 8 0:01 TRACK SP

6 TUNING/PRESET ⊖ ⊕(リモコン) **を押して、録音レベルを調整する。**

※最も大きなレベルで『0dB』を超えないようにしてください。

※録音レベルは、−6dB〜+6dBまで2dBステップで調整することができます。

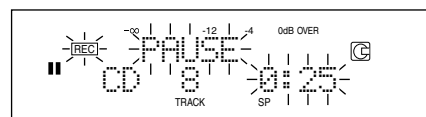
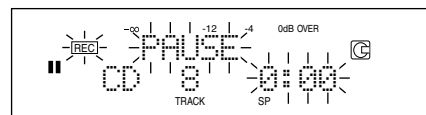
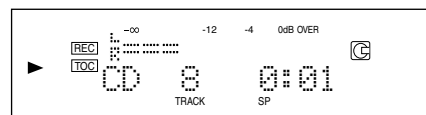
レベルメーター

► REC R.LEV. +4dB

録音レベル

次のページにつづく

MDのいろいろな録音のしかた（つづき）

7 ►/II CD（本体） **または** ►/II CD（リモコン） **を押して、CDを一時停止する。**

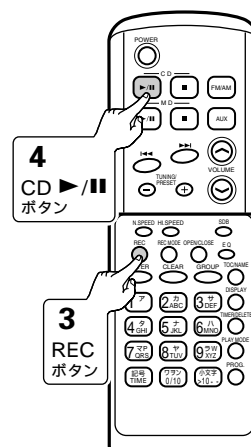
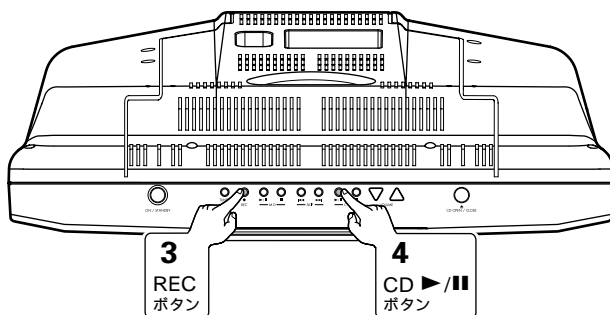
※録音は一時停止状態のままです。

8 ⏮ SKIP（本体） **または** SKIP ⏭（本体）（⏮（リモコン） または ⏭（リモコン））**を押して、もう一度録音したい曲番を選ぶ。**

9 **もう一度** ►/II CD（本体） **または** ►/II CD（リモコン） **を押して、録音を始める。**

録音を停止するには

MD ■（本体） **または** MD ■（リモコン） **を押す。**

- 録音は停止し、CDは再生を続けます。

ご注意

- この録音操作ではワンタッチ録音（ ☞ P.36）はできません。
- 録音レベルは、前回調整したレベルを覚えています。
- 録音レベルの設定はAUX、CDそれぞれ可能です。

（2）CDの好きな曲を選んで、MDに録音する　『プログラム録音』

1 **録音用MDを入れる。**

2 **録音したい曲をプログラム再生で登録する。**（☞ P.31の操作*1*～*5*）

3 REC（リモコン）（または ● REC（本体））**を押す。**

- 録音の一時停止状態になります。

4 ►/II CD（リモコン）（または ►/II CD（本体））**を押して、録音を始める。**

19 グループ機能について

★ グループ機能とは、新しい機能としてMDに収録されている曲をグループ管理する機能です。
★ 本機では、MDLP（MD LONG PLAY）フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます（MDLP録音)。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。
通常再生モードとグループ再生モードを切り替えるには、MD停止時に GROUP（リモコン）を押します。グループモードに入ると“ GP ”が点灯し、グループ番号が表示されます。
★ 本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

1. グループを作る
- MDディスクに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。
- 本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大99グループです。
- 収録後のグループ登録の変更などができます。

2. 聞きたいグループを再生する

3. グループ中の曲を変更およびグループを解除する
- グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。
- グループを解除できます。

4. グループのタイトルをつける、変更する
- 登録したグループにグループ名をつけることができます。
- 登録したグループのグループ名を変更できます。
- 本機で入力できるグループ名の文字数は1グループあたり100文字です。

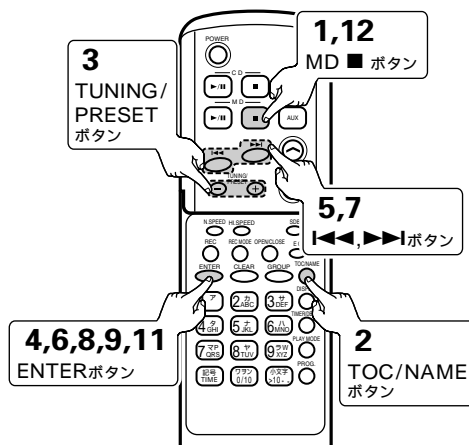
ご注意

■ グループ機能を搭載していない機器での編集
グループ登録したディスクをグループ機能を搭載していない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。

■ グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示
グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部に書かれています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。
0；ディスク名//1-5；グループ名1//6-9；グループ名2//…

■ 本機のグループ機能の制限
本機で扱えるグループは最大99グループです。
グループ名の文字数は1グループあたり100文字です。
この制限を超えたMDディスクを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。
本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。

グループ機能について（つづき）

（1）グループを作る

［例］ 1曲から15曲までの連続した曲を3グループにする場合

● グループされていない連続した曲

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 →

グループ1	グループ2	グループ3
1 2 3 4 5	6 7 8 9 10	11 12 13 14 15

1 録音済みディスクを入れ、MD ■（リモコン）を押す。

2 TOC/NAME（リモコン）を押す。

3 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、"NEW GROUP"（ニュー グループ）を選択する。

TOTAL NEW GROUP MD 15 55:19 TRACK

4 ENTER（リモコン）を押す。

NEW GROUP Tr 01- 01

5 I◀◀（リモコン）または ▶▶I（リモコン）を押して、グループ登録したい最初の曲番を選択する。

NEW GROUP Tr 01- 01

6 ENTER（リモコン）を押す。

NEW GROUP Tr 01- 01

7 I◀◀（リモコン）または ▶▶I（リモコン）を押して、グループ登録したい最後の曲番を選択する。

NEW GROUP Tr 01- 05

8 ENTER（リモコン）を押す。

TOTAL TOC COMPLETE ⇨ TOTAL TOC Gr NAME 1 5 18:53 GP TRACK

次のページにつづく

グループ機能について（つづき）

9 **グループのタイトルを入力する場合には ENTER（リモコン）を押す。**

※ここで終了する場合には MD ■（リモコン）を押してください。
グループ名を後でつける場合には、47ページの「(4) グループのタイトルを変更する」の操作をおこなってください。

10 **文字を入力する。**（☞ P.60の操作*5*）

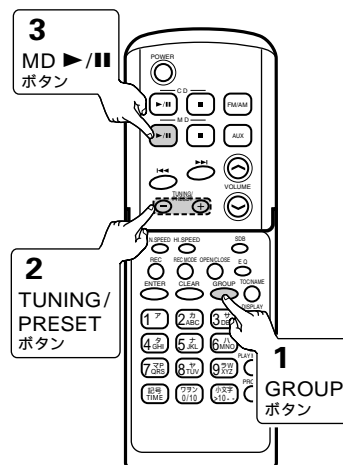
11 ENTER（リモコン）**を押す。**

12 MD ■（リモコン）を押す。

※続けてグループを作る場合には、操作*2*～*11*をくり返してください。

ご注意

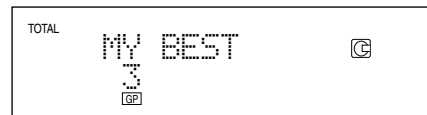
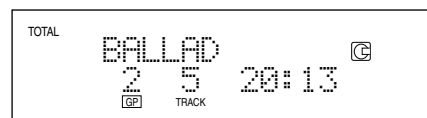
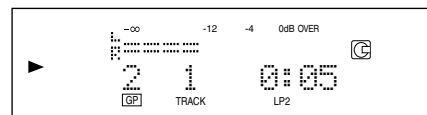
- 一度グループに登録された曲は、選択できません。
- 下記のような場合には“NEW GROUP”が表示されません。
  1. 99グループがすでに登録されている。
  2. ディスク名の情報エリアにグループ管理情報を書き込むスペースがない。
  3. 全トラックがすでにグループ登録されている。

(2) グループを再生する

[例] グループ2を再生する場合

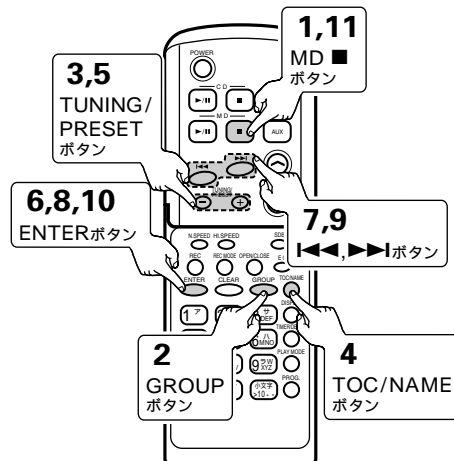
1 **停止中に GROUP（リモコン） を押す。**

2 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）**を押して、**

再生したいグループを選択する。

3 MD ►/II（リモコン）**を押す。**

- 選択されたグループの曲が再生され、グループの最後の曲の再生が終わると停止します。

※通常再生モードに戻すには、
停止中に再度 GROUP（リモコン） を押します。

グループ機能について（つづき）

(3) グループの曲を変更する

［例］グループ1（1曲目〜5曲目）を2曲目〜4曲目に変更する場合

1 グループの曲を変更したいディスクを入れ、MD ■（リモコン）を押す。

2 GROUP（リモコン）を押す。

TOTAL MY BEST 3 GP

3 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、

変更したいグループを選択する。

TOTAL POPS 1 5 18:53 GP TRACK

4 TOC/NAME（リモコン）を押す。

5 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、

“Gp MODIFY”（グループ モディファイ）を選択する。

TOTAL Gp MODIFY 1 5 18:53 GP TRACK

6 ENTER（リモコン）を押す。

Gp MODIFY Tr 01 05 GP

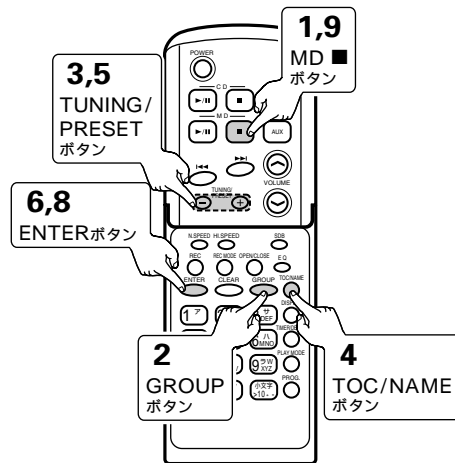
7 ⏮（リモコン）または ⏭（リモコン）を押して、

変更したい最初の曲番を選択する。

Gp MODIFY Tr 02 05 GP

次のページにつづく

グループ機能について（つづき）

（4）グループのタイトルを変更する

［例］グループ1のタイトルを変更する場合

1 グループ名を変更したいディスクを入れ、MD ■（リモコン）を押す。

2 GROUP（リモコン）を押す。

TOTAL MY BEST 3 GP

3 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、
変更したいグループを選択する。

TOTAL POPS 1 3 12:32 GP TRACK

4 TOC/NAME（リモコン）を押す。

5 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、
“Gp NAME（グループ ネーム）”を選択する。

TOTAL Gp NAME 1 3 12:32 GP TRACK

6 ENTER（リモコン）を押す。

TOTAL POPS 1 5 18:53 GP TRACK カナ

7 文字を入力する。（☞ P.60の操作5）

8 ENTER（リモコン）を押す。

TOTAL POPS No.1 TOC 1 3 12:32 GP TRACK

9 MD ■（リモコン）を押す。

（5）グループのタイトルを消去する

［例］グループ2のタイトルを消去する場合

1 グループのタイトルを消去したいディスクを入れ、MD ■（リモコン）を押す。

2 GROUP（リモコン）を押す。

TOTAL MY BEST 3 GP

3 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、タイトルを消去したいグループを選択する。

TOTAL BALLAD 2 5 20:13 GP TRACK

4 TOC/NAME（リモコン）を押す。

5 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、"Gp N.ERASE"（グループ ネーム イレース）を選択する。

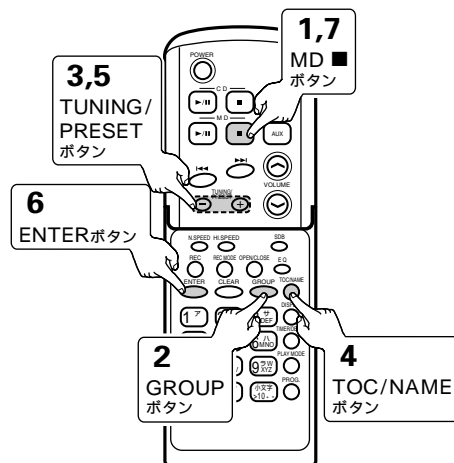
TOTAL Gp N.ERASE 2 5 20:13 GP TRACK

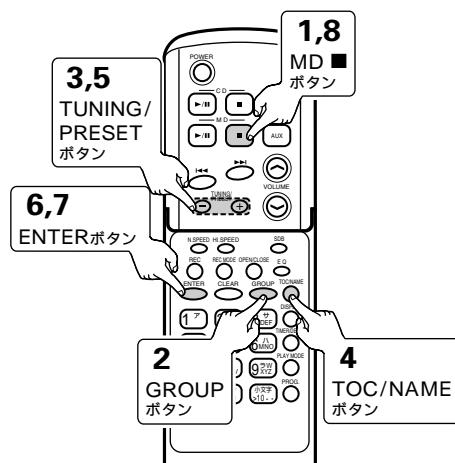
6 ENTER（リモコン）を押す。

TOTAL TOC COMPLETE

7 MD ■（リモコン）を押す。

グループ機能について（つづき）

（6）グループを解除する

［例］グループ2をグループ解除する場合

1	**グループを解除したいディスクを入れ、** MD ■（リモコン） **を押す。**
2	GROUP（リモコン） **を押す。** TOTAL MY BEST 3 GP
3	TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） **を押して、** **解除したいグループを選択する。** TOTAL NO NAME 2 5 20:13 GP TRACK
4	TOC/NAME（リモコン） **を押す。**
5	**10秒以内に** TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） **を押して、** **“**Gp CANCEL（グループ キャンセル）**”を選択する。** TOTAL Gp CANCEL 2 5 20:13 GP TRACK
6	ENTER（リモコン） **を押す。** COMPLETE ⇨ TOTAL TOC MY BEST 2 GP
7	MD ■（リモコン） を押す。

（7）グループを消去する

【例】グループ1を消去する場合

1 グループを消去したいディスクを入れ、MD ■（リモコン）を押す。

2 GROUP（リモコン）を押す。

TOTAL MY BEST 3 GP

3 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、消去したいグループを選択する。

TOTAL POPS No.1 1 3 12:32 GP TRACK

4 TOC/NAME（リモコン）を押す。

5 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、“Gp ERASE（グループ イレース）”を選択する。

TOTAL Gp ERASE 1 3 12:32 GP TRACK

6 ENTER（リモコン）を押す。

TOTAL ERASE OK? 1 3 12:32 GP TRACK

7 ENTER（リモコン）を押す。

COMPLETE ⇨ TOTAL TOC MY BEST 2 GP

8 MD ■（リモコン）を押す。

※曲を消すと元には戻せません。消してよいかどうかをよく確かめてから操作してください。

20 MDの編集のしかた

（1）編集の前に

★グループモード中は、グループ内の編集になります。

編集機能（EDIT）のいろいろ

曲の分割

曲を分ける

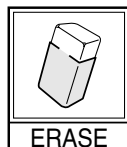
1つの曲を希望の位置で
2つの曲に分けることが
できます。（☞P.53）

●曲Cと曲Dが曲番3の中にある

曲番	1	2	3	4
	曲A	曲B	曲C+曲D	曲E

●曲番3を分割し、曲C、曲Dにする

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

曲の消去

曲を消す

一曲消去（☞P.55）
全曲消去（☞P.56）
プログラム消去（☞P.57）

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

●曲Bを消去

曲番	1	2	3	4	
	曲A	曲C	曲D	曲E	

曲の結合

曲をつなぐ

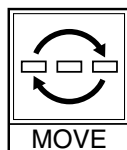
連続した2つの曲を1つ
にまとめることができ
ます。（☞P.54）

●曲Cが、曲番3と曲番4に分かれている

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲C	曲D

●曲番3と曲番4を結合し、
曲Cを１つの曲番にする

曲番	1	2	3	4
	曲A	曲B	曲C	曲D

曲の移動

曲を移動する

選んだ曲を希望の位置へ
移動することができます。
（☞P.58、59）

●曲Cが曲番3になっている

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

●曲Cを曲番1にする

曲番	1	2	3	4	5
	曲C	曲A	曲B	曲D	曲E

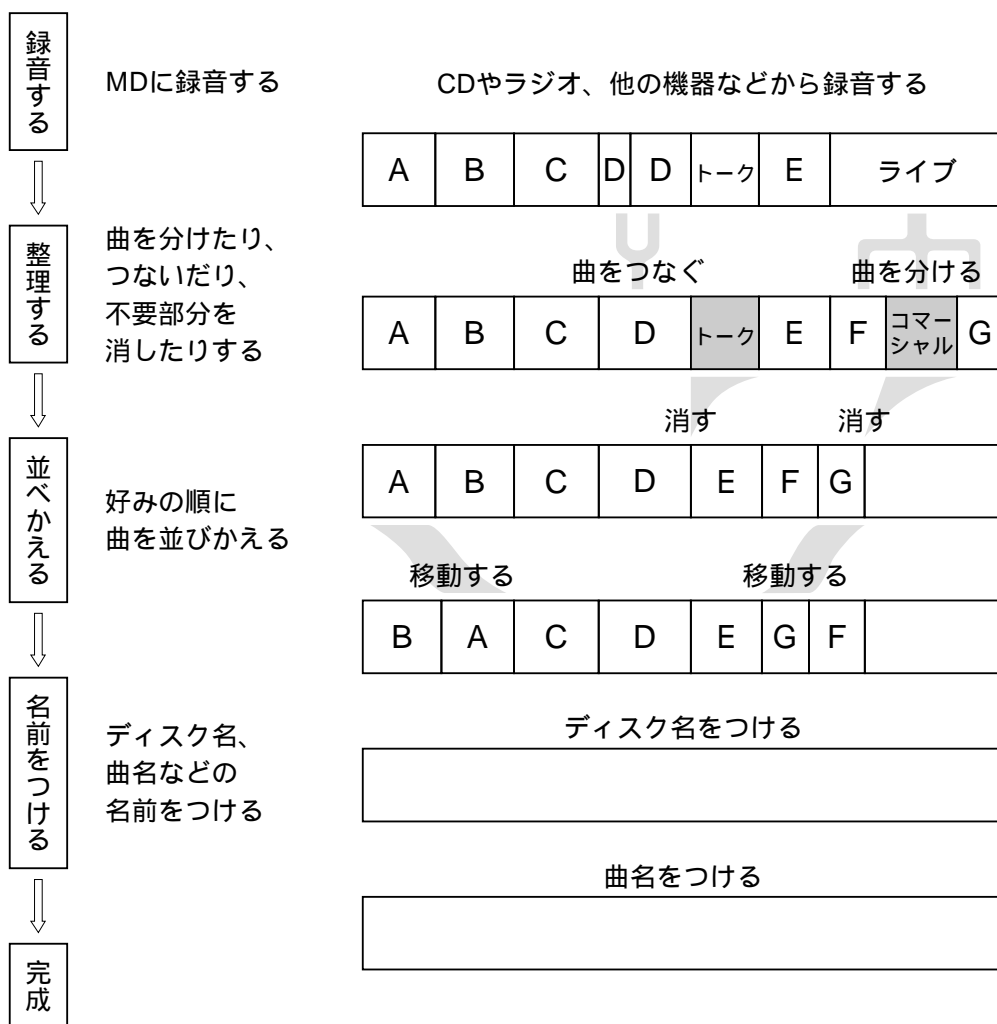
MDの編集のしかた（つづき）

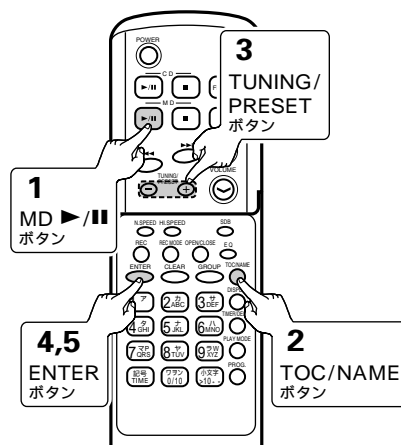
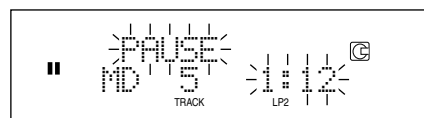
ディスク名や曲名をつける

★録音したMDには、お好みのディスク名や曲名をつけることができます。（☞ P.60、61）

ご注意

- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナを入力したとき、この製品では正常に表示されないことがあります。

編集機能の活用のいろいろ

MDの編集のしかた（つづき）

（2）曲を分ける（Divide）

1 **再生中に曲を分けたいところで** MD ►/II（リモコン）（または ►/II MD（本体））**を押して、一時停止状態にする。**

2 TOC/NAME（リモコン）**を押して、編集メニューにする。**

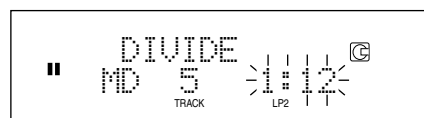
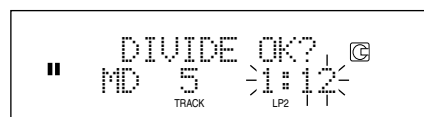
3 **10秒以内に** TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）**を押して、“DIVIDE（デバイド）”を選ぶ。**

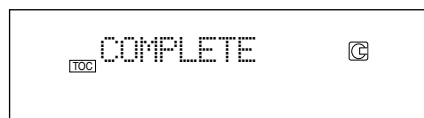
DIVIDE
MD 5 1:12
TRACK LP2

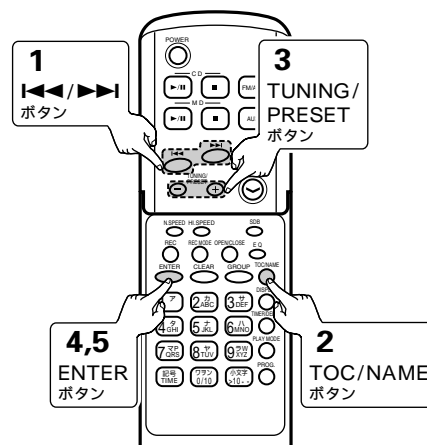
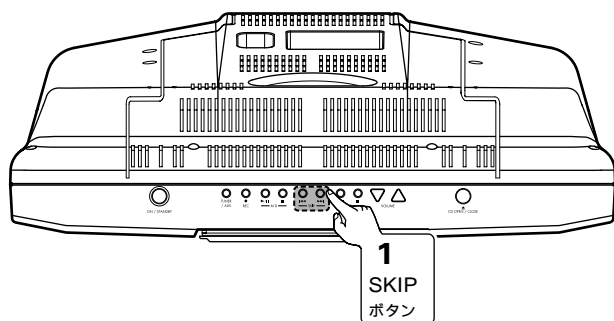
4 **10秒以内に** ENTER（リモコン）**を押す。**

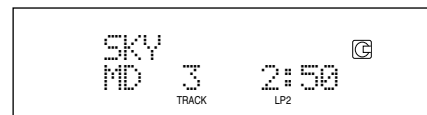
※中止するときは、TOC/NAME（リモコン）を押してください。

DIVIDE OK?
MD 5 1:12
TRACK LP2

5 **もう一度** ENTER（リモコン）**を押す。**

- 曲が分けられ、後ろの曲の頭で停止します。

TOC COMPLETE

MDの編集のしかた（つづき）

(3) 曲をつなぐ（Combine）

1 **停止中に I◀◀（リモコン） または ▶▶I（リモコン） を押して、つなぐ後ろの曲を選ぶ。**

※後ろの曲の再生中に MD ▶/II（リモコン） を押して、一時停止状態にしてもできます。

SKY
MD 3 2:50
TRACK LP2

2 **TOC/NAME（リモコン） を押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） を押して、"COMBINE（コンバイン）" を選ぶ。**

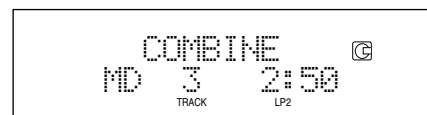
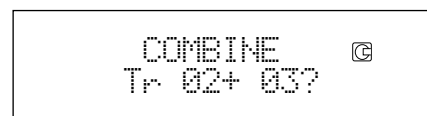
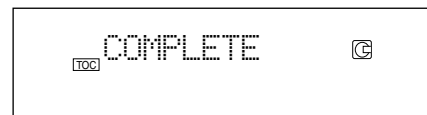
COMBINE
MD 3 2:50
TRACK LP2

4 **10秒以内に ENTER（リモコン） を押す。**

※中止するときは、 TOC/NAME（リモコン） を押してください。

COMBINE
Tr 02+ 03?

5 **もう一度 ENTER（リモコン） を押す。**

TOC COMPLETE

（4）曲を消す（Erase）

1曲ずつ消す

1 **停止中に |◀◀（リモコン） または ▶▶|（リモコン） を押して、消す曲を選ぶ。**

※消したい曲の再生中に ▶/II MD（リモコン） （または ▶/II MD（本体））を押して、一時停止状態にしてもできます。

SEA
MD 12　3:19
TRACK　LP2

2 **TOC/NAME（リモコン） を押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） を押して、“Tr ERASE（トラック イレース）”を選ぶ。**

Tr ERASE
MD 12　3:19
TRACK　LP2

4 **10秒以内に ENTER（リモコン） を押す。**

※中止するときは、TOC/NAME（リモコン） を押してください。

ERASE 12?
MD 12　3:19
TRACK　LP2

5 **もう一度 ENTER（リモコン） を押す。**

TOC COMPLETE

※曲を消すと元には戻せません。消してよいかどうかをよく確かめてから操作してください。

すべての曲を消す（All erase）

1 MD ■（リモコン） **を押す。**

2 TOC/NAME（リモコン） **を押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に** TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） **を押して、"ALL ERASE"**（オール イレース）**を選ぶ。**

TOTAL
ALL ERASE
MD 15 55:19
TRACK LP2

4 **10秒以内に** ENTER（リモコン） **を押す。**

※中止するときは、 TOC/NAME（リモコン） を押してください。

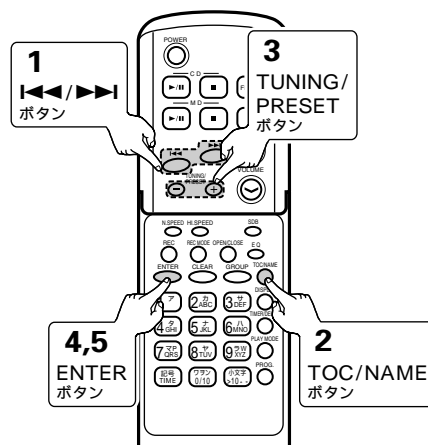
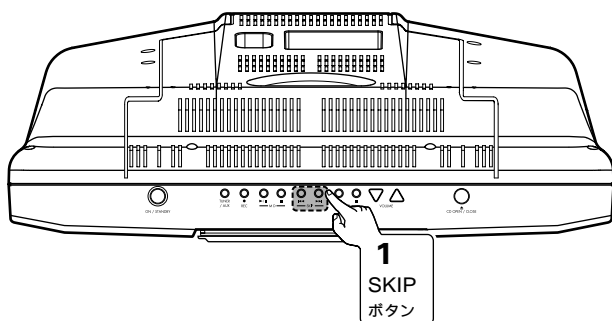
TOTAL
ERASE OK?
MD 15 55:19
TRACK LP2

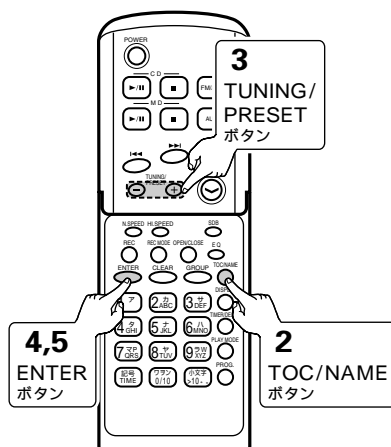
5 **もう一度** ENTER（リモコン） **を押す。**

● すべての曲が消えます。

TOC COMPLETE

↓

TOC BLANK MD

※**曲を消すと元には戻せません。消してよいかどうかをよく確かめてから操作してください。**

MDの編集のしかた（つづき）

数曲まとめて消す（Program erase）

1 **消したい曲をプログラム選曲で選ぶ。**
（☞ P.31の操作*1*～*5*）

2 TOC/NAME（リモコン） **を押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に** TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） **を押して、"PRGM ERASE"（プログラム イレース）を選ぶ。**

TOTAL PRGM ERASE MD 3 11:01 PROG TRACK

4 **10秒以内に** ENTER（リモコン） **を押す。**

※中止するときは、TOC/NAME（リモコン） を押してください。

TOTAL PRGM ERASE? MD 3 11:01 PROG TRACK

5 **もう一度** ENTER（リモコン） **を押す。**

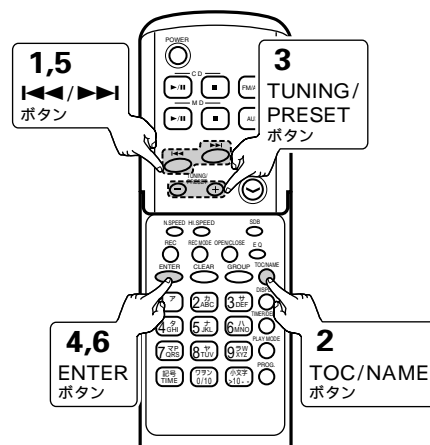
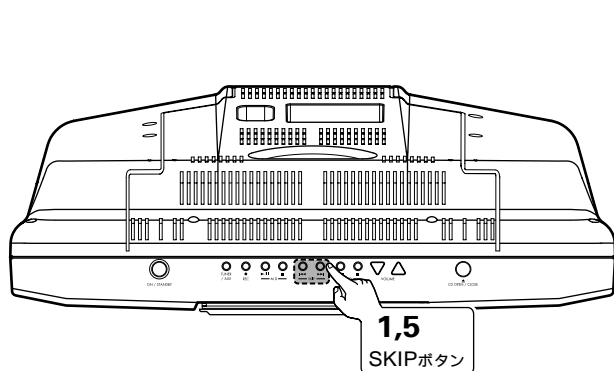
- プログラムした曲が消えます。

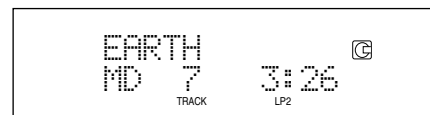
TOC COMPLETE

ご注意

グループ登録をしたディスクでは、本項の「数曲まとめて消す」はできません。
55ページの「（4）曲を消す（Erase）」または50ページの「（7）グループを消去する」をご利用ください。

MDの編集のしかた（つづき）

（5）曲を移動する（Move）

1 停止中に |◀◀（リモコン） または ▶▶|（リモコン） を押して、移動する曲を選ぶ。

※移動したい曲の再生中に MD ►/II（リモコン） （または ►/II CD（本体））を押して、一時停止状態にしてもできます。

EARTH
MD 7 3:26
TRACK LP2

2 TOC/NAME（リモコン） を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） を押して、"MOVE（ムーブ）"を選ぶ。

MOVE
MD 7 3:26
TRACK LP2

4 10秒以内に ENTER（リモコン） を押す。

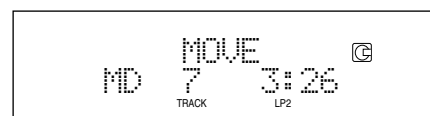
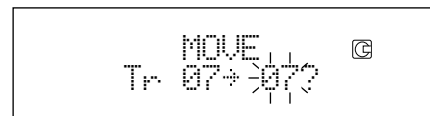
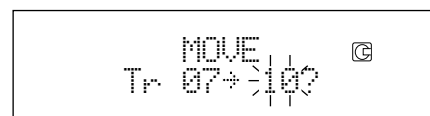
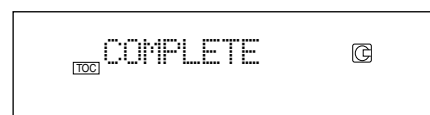
MOVE
Tr 07→07?

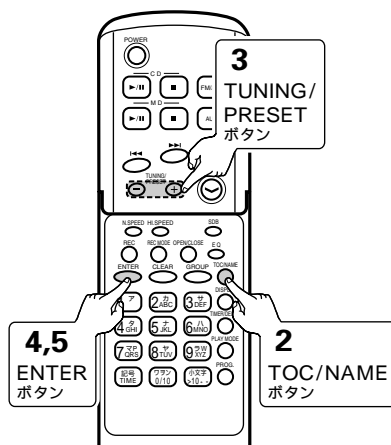
5 |◀◀（リモコン） または ▶▶|（リモコン） を押して、移動先を選ぶ。

※中止するときは、 TOC/NAME（リモコン） を押してください。

MOVE
Tr 07→10?

6 もう一度 ENTER（リモコン） を押す。

TOC COMPLETE

MDの編集のしかた（つづき）

（6）曲を並べかえる（Program move）

1 曲を並べかえたい順番にプログラム選曲する。

（☞ P.31の操作*1*～*5*）

2 TOC/NAME ◯（リモコン） を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） を押して、

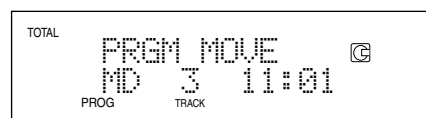
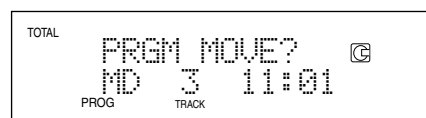
"PRGM MOVE" を選ぶ。

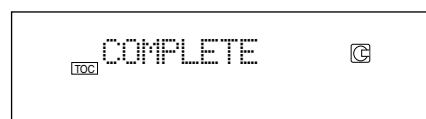
TOTAL PRGM MOVE
MD 3 11:01
PROG TRACK

4 10秒以内に ENTER ⬭（リモコン） を押す。

※中止するときは、 TOC/NAME ◯（リモコン） を押してください。

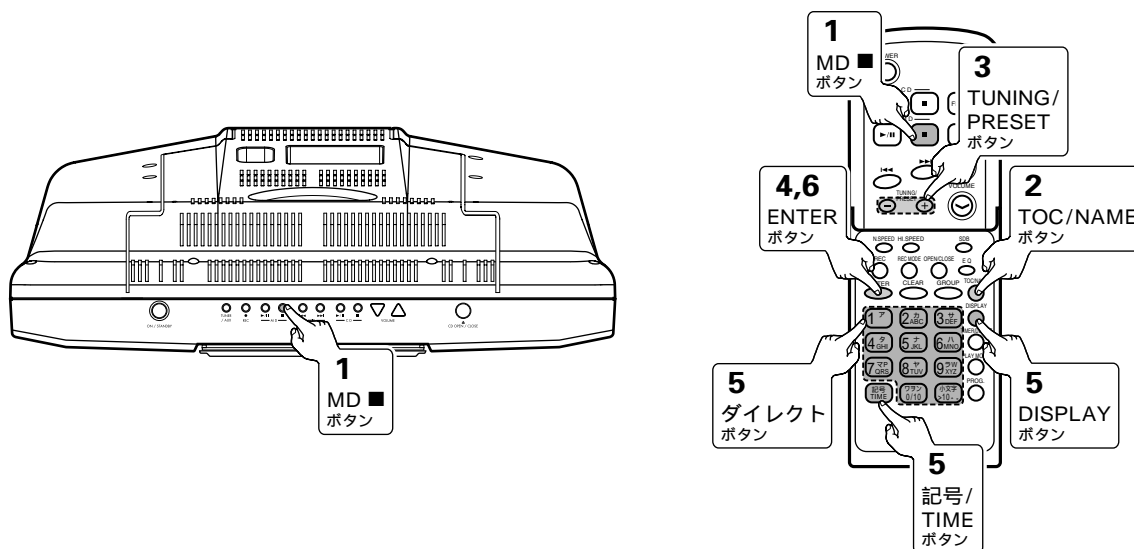
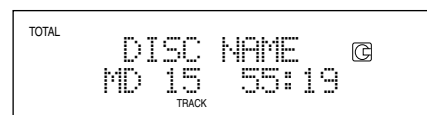
TOTAL PRGM MOVE?
MD 3 11:01
PROG TRACK

5 もう一度 ENTER ⬭（リモコン） を押す。

- 曲が並べかえられます。
- プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲の後ろに並べかえられます。

TOC COMPLETE

ご注意

- 同じ曲を2回以上プログラムしているときは、最初にプログラムした内容が優先されます。
- グループ登録をしたディスクでは、本項の「曲を並べかえる（Program move)」はできません。前項の「(5）曲を移動する」をご利用ください。

MDの編集のしかた（つづき）

(7) ディスク名をつける

1 MD ■（リモコン）**を押す。**

2 TOC/NAME（リモコン）**を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）**を押して、"DISC NAME"（ディスク ネーム）を選ぶ。**

4 10秒以内に ENTER（リモコン）**を押す。**

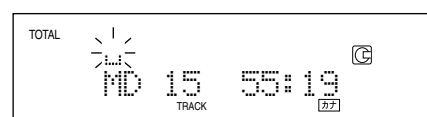
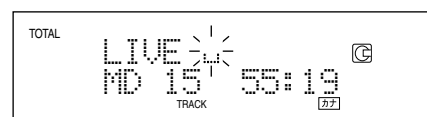
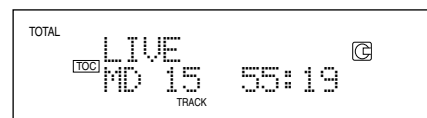
※中止するときは、TOC/NAME（リモコン）を押してください。

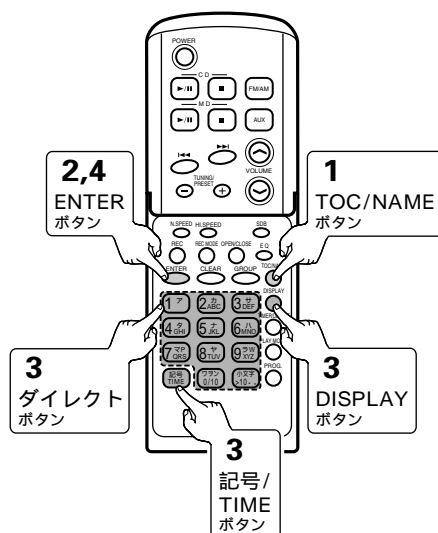
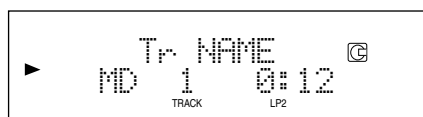
5 1ア（リモコン）～ 小文字 >10（リモコン）、記号 TIME（リモコン）、DISPLAY（リモコン）**を使って、文字を入力する。**

※カタカナと英数字の切り替えをするときは、DISPLAY（リモコン）を押してください。

また、アルファベットの大文字と小文字の切り替えをするときは、小文字 >10（リモコン）を押してください。

※カーソルは、TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を使って移動させることができます。

6 入力が終わったら、 ENTER（リモコン）**を押す。**

● ディスク名が記録されます。

MDの編集のしかた（つづき）

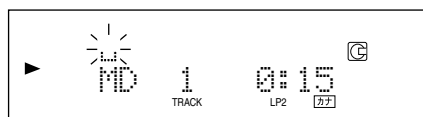
(8) 曲名をつける

1 名前をつける曲の再生中（または一時停止中）に TOC/NAME（リモコン）を押して、編集メニューにする。

Tr NAME
MD 1 0:12
TRACK LP2

※停止中に SKIP ◀◀（本体）または SKIP ▶▶（本体）を押して名前をつける曲を選び、

TOC/NAME（リモコン）を押し、10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、"Tr NAME（トラック ネーム）"を選ぶこともできます。

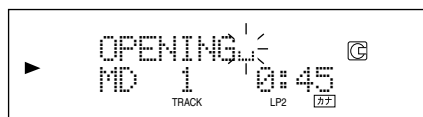
2 10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。

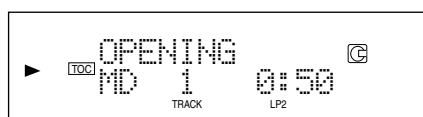
●文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返し再生されます。

※中止するときは、TOC/NAME（リモコン）を押してください。

3 1ア（リモコン）～ 小文字>10（リモコン）、記号 TIME（リモコン）、DISPLAY（リモコン）を使って、文字を入力する。

※カタカナと英数字の切り替えをするときは、DISPLAY（リモコン）を押してください。

また、アルファベットの大文字と小文字の切り替えをするときは、小文字>10（リモコン）を押してください。

※カーソルは、TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を使って移動させることができます。

4 入力が終わったら、ENTER（リモコン）を押す。

●曲名が記録され、通常の再生に戻ります。

入力できる文字の種類について

<table>
<tr><th rowspan="2">ボタン</th><th>カタカナ入力モード</th><th colspan="2">⇔ DISPLAY（リモコン） ⇔ 英数入力モード</th></tr>
<tr><th></th><th>大文字</th><th>小文字</th></tr>
<tr><td>1 ア</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2 カ ABC</td><td>カキクケコ</td><td>ＡＢＣ2</td><td>ａｂｃ2</td></tr>
<tr><td>3 サ DEF</td><td>サシスセソ</td><td>ＤＥＦ3</td><td>ｄｅｆ3</td></tr>
<tr><td>4 タ GHI</td><td>タチツテトッ</td><td>ＧＨＩ4</td><td>ｇｈｉ4</td></tr>
<tr><td>5 ナ JKL</td><td>ナニヌネノ</td><td>ＪＫＬ5</td><td>ｊｋｌ5</td></tr>
<tr><td>6 ハ MNO</td><td>ハヒフヘホ</td><td>ＭＮＯ6</td><td>ｍｎｏ6</td></tr>
<tr><td>7 マP QRS</td><td>マミムメモ</td><td>ＰＱＲＳ7</td><td>ｐｑｒｓ7</td></tr>
<tr><td>8 ヤ TUV</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>ＴＵＶ8</td><td>ｔｕｖ8</td></tr>
<tr><td>9 ラW XYZ</td><td>ラリルレロ</td><td>ＷＸＹＺ9</td><td>ｗｘｙｚ9</td></tr>
<tr><td>ワヲン 0/10</td><td>ワヲン</td><td>0 スペース</td><td>0 スペース</td></tr>
<tr><td>小文字 >10゛゜</td><td>゛゜ スペース</td><td colspan="2">アルファベットの大文字/小文字の切り替え（数字の大きさは変わりません）</td></tr>
<tr><td>記号 TIME</td><td colspan="3">－.，／：？＆（）！”＃＄％＊；＜＝＞@＿`＋’［￥］｛|｝～スペース</td></tr>
</table>

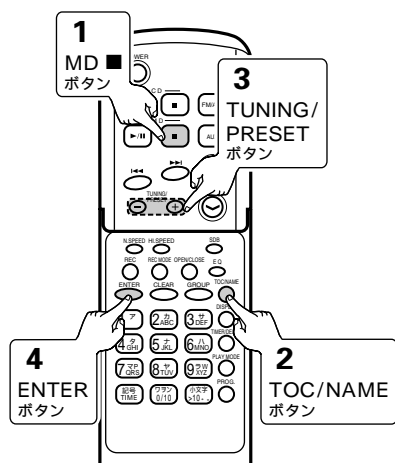
ご注意

- ディスク名や各曲名は100文字まで入力することができます。100文字を超えると“NAME FULL”が表示されます。
- 1枚のMDには約1,700文字まで入力することができます。約1,700文字を超えると“TOC FULL”が表示されます。但し、この製品で2倍・4倍長時間録音（LP2・LP4）した曲にはその情報が記録されるため、1,700文字以下でも“TOC FULL 1”が表示されることがあります。

MDの編集のしかた（つづき）

（9）ディスク名を消去する

1 MD ■（リモコン）を押す。

2 TOC/NAME（リモコン）を押して、
編集メニューにする。

3 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、
“NAME ERASE”を選ぶ。

TOTAL
NAME ERASE
MD 15 55:19
TRACK

4 10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。

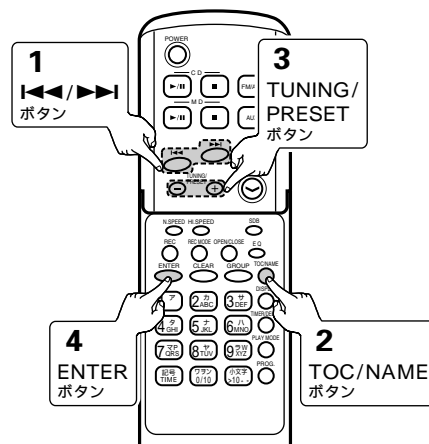
- ディスク名が消去されます。

※中止するときは、TOC/NAME（リモコン）を押してください。

TOTAL
TOC COMPLETE

⇩

TOTAL
NO TITLE
TOC MD 15 55:19
TRACK

（10）曲名を消去する

1 停止中に ⏮（リモコン）または ⏭（リモコン）を
押して、曲名を消去したい曲を選ぶ。

2 TOC/NAME（リモコン）を押して、
編集メニューにする。

3 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、
“Tr N.ERASE”を選ぶ。

Tr N.ERASE
MD 10 3:26
TRACK LP2

4 10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。

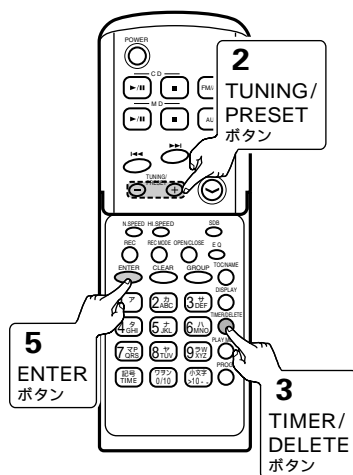
- 曲名が消去されます。

※中止するときは、TOC/NAME（リモコン）を押してください。

TOC COMPLETE

⇩

NO NAME
TOC MD 10 3:26
TRACK LP2

（11）文字を消去する・修正する

［例］LIVE 2 の『2』を『A』に直すとき

1　文字の入力画面にする。

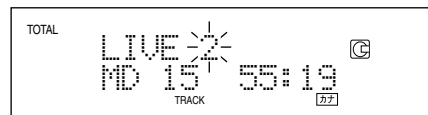
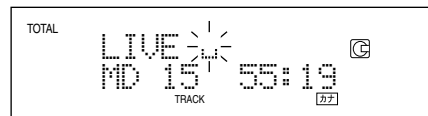
ディスク名を修正するとき：（☞ P.60の操作**1**～**4**）

曲名を修正するとき：（☞ P.61の操作**1**～**2**）

2　TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、消去したり、修正したい文字を点滅させる。

TOTAL LIVE 2
MD 15 55:19
TRACK カナ

3　TIMER/DELETE ○（リモコン）を押して、不要な文字を消去する。

TOTAL LIVE
MD 15 55:19
TRACK カナ

4　正しい文字を入力する。

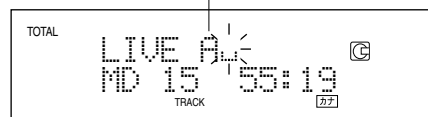
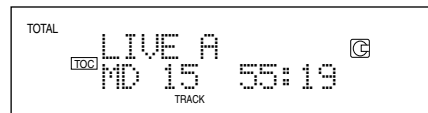
ディスク名を入力するとき：（☞ P.60の操作**5**）

曲名を入力するとき：（☞ P.61の操作**3**）

入力した文字

TOTAL LIVE A
MD 15 55:19
TRACK カナ

5　文字の消去・修正が終わったら、ENTER（リモコン）を押す。

TOTAL LIVE A
TOC MD 15 55:19
TRACK

(12）文字を追加する

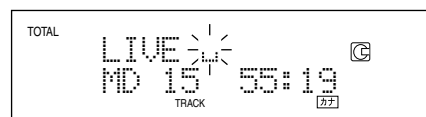
[例]『LIVE』を『LIVE A』にするとき

1 文字の入力画面にする。

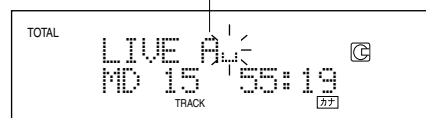
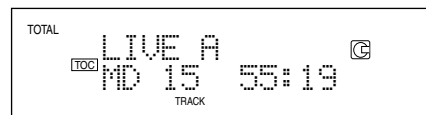
ディスク名を修正するとき：（☞ P.60の操作***1***～***4***）
曲名を修正するとき：（☞ P.61の操作***1***～***2***）

2 TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押して、追加したい位置の文字を点滅させる。

TOTAL LIVE MD 15 55:19 TRACK

※中止するときは、TOC/NAME（リモコン）を押してください。

3 追加したい文字を入力する。

ディスク名を入力するとき：（☞ P.60の操作***5***）
曲名を入力するとき：（☞ P.61の操作***3***）

● 元の文字が1文字ずつ右に移動します。

4 文字の追加が終わったら、ENTER（リモコン）を押す。

21 タイマーの使いかた

タイマーの種類と楽しみかた

- **タイマー再生（ONCE PLAY）**：
  希望の時間に電源をON/OFFし、MD・CD・ラジオ放送・外部入力の音声を聞くことができます。
- **タイマー録音（ONCE REC）**：
  希望の時間にラジオ放送や外部入力の音声をMDに録音することができます。
- **エブリデイタイマー（EVERYDAY）**：
  毎日希望の時間に電源をON/OFFし、MD・CD・ラジオ放送・外部入力の音声を聞くことができます。
- **スリープタイマー（SLEEP）**：
  希望の時間に電源をOFFにすることができます。
- **スリープタイマーとタイマーの組み合わせ**：
  スリープタイマーとタイマー再生/録音の組み合わせで、いろいろな楽しみかたができます。

タイマーを使う前に

1 時計を合わせる

時計の時刻を合わせていないと、タイマー操作をすることができません。（☞ P.15）

2 再生や録音の準備をする

【タイマー再生の準備】

次のような事前準備が必要です。

- **ラジオ放送を聞くとき**：
  希望の放送局をプリセットに登録する。
  （☞ P.26）
- **CDを聞くとき**：CDを装着する。
- **MDを聞くとき**：再生するMDを挿入する。

【タイマー録音の準備】

次のような事前準備が必要です。

- **ラジオ放送を録音するとき**：
  希望の放送局を受信する。
- **MDに録音するとき**：録音するMDを挿入する。

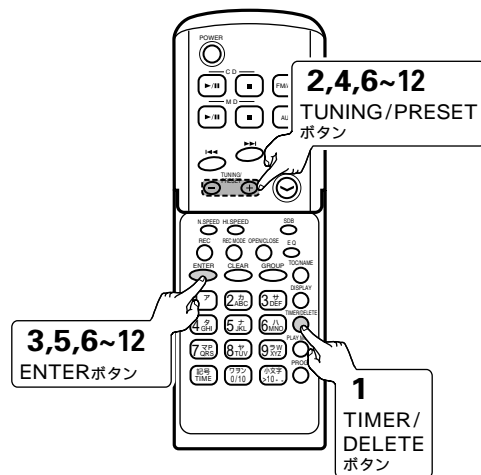
【タイマー設定のおおまかな手順】

登録モードの設定
↓
開始時刻や終了時刻の設定
↓
タイマー機器の設定

ご注意

- タイマー再生、タイマー録音およびエブリデイタイマーを同時に設定することはできません。3種類のうち1つしか動作しません。
- 他の機器は、この製品のタイマー設定では操作することはできません。
- ワンタッチ録音中はタイマーを設定することはできません。

タイマーの使いかた（つづき）

(1) タイマーを設定する

[例] プリセット番号『3』のラジオ放送『FM 82.50MHz』をPM5：10〜PM6：10まで登録するとき

1 **電源を入れてから、TIMER/DELETE（リモコン）を押す。**

※“STANDBY（スタンバイ）”が表示されないときは、時計を合わせてください。時計を合わせていないと、タイマーを設定することはできません。（☞ P.15）

2 **10秒以内にTUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押して、“TIMER SET（タイマー セット）”を選ぶ。**

3 **10秒以内にENTER（リモコン）を押す。**

4 **TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押して、登録モードを選ぶ。**

- **タイマー再生をするとき** ― “ONCE PLAY（ワンス プレイ）”を選ぶ。
- **タイマー録音をするとき** ― “ONCE REC（ワンス レコード）”を選ぶ。
- **毎日同じ時間にタイマー再生をするとき** ― “EVERYDAY（エブリデイ）”を選ぶ。

5 **ENTER（リモコン）を押す。**

ON AM12:00

次のページにつづく

6 TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、開始時刻の『時』を合わせ、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

ON PM 5:00

7 TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、開始時刻の『分』を合わせ、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

ON PM 5:10

※ TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押し続けると、5分ごとに早送りされます。

※開始時刻の『分』を設定すると、『時』が1時間増えて、終了時刻に切り替わります。

8 TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、終了時刻の『時』を合わせ、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

OFF PM 6:10

9 TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、終了時刻の『分』を合わせ、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

OFF PM 6:10

10 **タイマー再生をするとき** **毎日同じ時間にタイマー再生をするとき**

TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、聞きたい入力を選び、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

TUNER

※ TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押すたびに、次のように切り替わります。

CD→TUNER→AUX→MD

タイマー録音をするとき

TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、録音したい入力を選び、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

TUNER

※ TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押すたびに、次のように切り替わります。

TUNER↔AUX

11 **【操作*10*で『TUNER（チューナー）』を選んだとき】**

TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）**を押して、希望の放送局を選び、**

ENTER（リモコン）**を押す。**

-∞ -12 -4 0dB OVER TUNED ST STEREO FM
P 3 82.5 MHz SP

※希望の放送局が登録されていないときは、放送局を登録した後、もう一度操作***1***からやり直してください。（☞ P.26）

次のページにつづく

タイマーの使いかた（つづき）

12 TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン） **を押して音量を設定し、** ENTER（リモコン） **を押す。**

VOLUME 12 FM TUNED ST STEREO
P 3 82.5 MHz

※音量をあまり大きくしないように注意してください。

登録された内容が順に表示されます。この後自動的に電源が切れて、タイマー再生、タイマー録音、またはエブリデイタイマーの待機状態になります。

（タイマー再生時）　（タイマー録音時）　（エブリデイタイマー時）

⇩

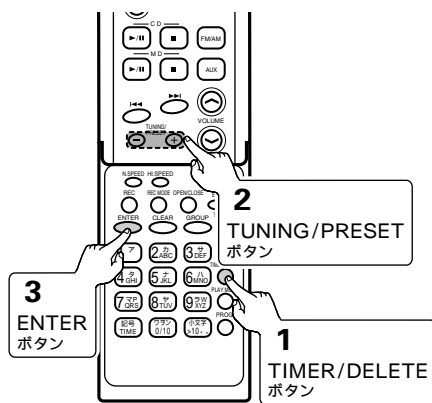
タイマー開始時刻になると、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー終了時刻になると、電源が自動的に切れます。

ご注意

- タイマーの待機状態のときに電源が入っていた場合、タイマーは動作しません。タイマー開始時間までにスタンバイ状態にしてください。
- 電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、タイマーの設定は消えてしまいます。

（2）同じ内容で再度タイマーを使うには

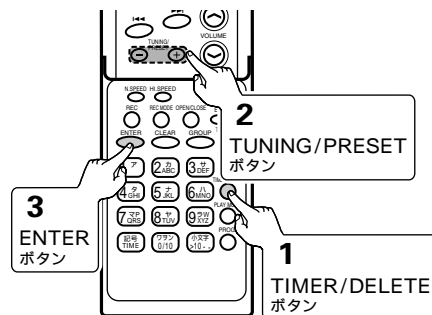
★タイマーを解除した場合でも、タイマーの内容は、一度設定すると覚えていますので、内容を変えないときは次の操作で再設定できます。

1 TIMER/DELETE（リモコン） **を押す。**

STANDBY

※“STANDBY（スタンバイ）”が表示されます。
“STANDBY（スタンバイ）”が表示されないときは、時計の設定が消えていますので、時計を合わせて、タイマー設定をやり直してください。

2 **10秒以内に** ENTER（リモコン） **を押す。**

- 登録された内容が順に表示されます。この後自動的に電源が切れて、タイマー再生、タイマー録音またはエブリデイタイマーの待機状態になります。

タイマーの使いかた（つづき）

(3) タイマー設定の内容を確認するには

1 **タイマー再生、タイマー録音またはエブリデイタイマーの待機状態のときに TIMER/DELETE（リモコン）を押す。**

AM 12:00 TIMER PLAY

2 **10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、“TIMER CALL（タイマーコール）”を選ぶ。**

TIMER CALL

3 **10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。**

● 設定した内容が順に表示された後、元の表示に戻ります。

AM 12:00 TIMER PLAY

(4) タイマー動作を解除するには

1 **TIMER/DELETE（リモコン）を押す。**

AM 12:00 TIMER PLAY

2 **10秒以内に TUNING/PRESET ⊖ ⊕（リモコン）を押して、解除する内容を選ぶ。**

CANCEL（キャンセル）：設定したタイマー再生を解除する
ONCE CANCEL（ワンス キャンセル）：エブリデイタイマーで次回のタイマー再生のみ解除する（タイマー設定は継続）
ALL CANCEL（オール キャンセル）：設定したエブリデイタイマーを解除する

3 **10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。**

● タイマー動作が解除されます。
（設定した内容は消えません。）

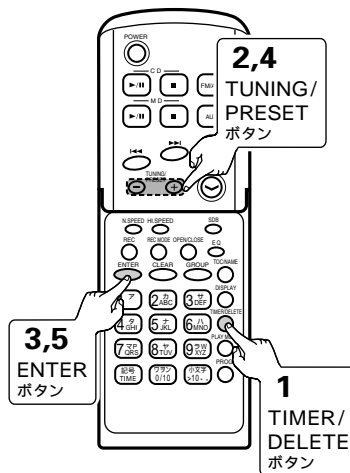
※ タイマー開始時間に電源が入っている場合もタイマー動作はしません。

AM 12:00

(5) タイマー設定を変更するには

タイマー動作を解除した後、タイマー設定（☞ P.67）の操作*1*からやり直してください。

（6）スリープタイマーを設定する

★電源の切れる時間を1分間隔で5分まで、5分間隔で最大2時間まで予約することができます。

1 聞きたい音楽の再生中またはラジオ受信中に、TIMER/DELETE（リモコン）を押す。

2 10秒以内に TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押して、“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。

SLEEP 1:00

3 10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。

SLEEP 1:00

4 TUNING/PRESET ⊖⊕（リモコン）を押して、スリープタイマー時間を設定する。

SLEEP 45 SLEEP

5 ENTER（リモコン）を押す。

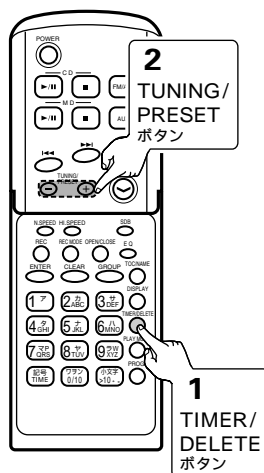
●“SLEEP（スリープ）”が点灯し、スリープタイマー動作が始まります。

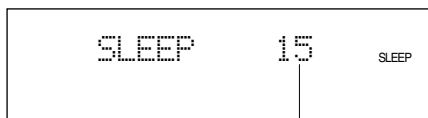
⇩

スリープタイマー終了時刻になると、再生が終わり、電源が切れます。
終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。このとき、音量を変えることはできません。

タイマーの使いかた（つづき）

（7）スリープタイマー中に残り時間を確認するには

1 スリープタイマー動作中に、TIMER/DELETE（リモコン）を押す。

2 10秒以内に ⊖ TUNING/PRESET ⊕（リモコン）を押して、"SLEEP（スリープ）"を選ぶ。

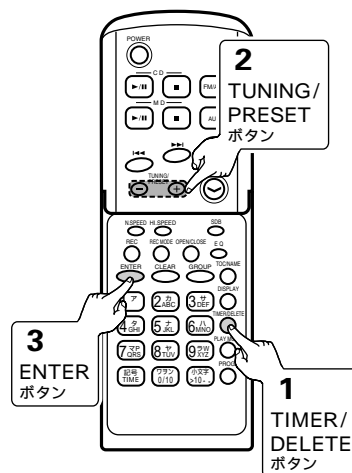
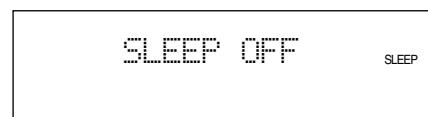
- 約10秒後に元の表示に戻ります。
- スリープタイマー残り時間が表示されているときに ENTER（リモコン）を押すと、時間を変更することができます。（☞ P.71の操作***4***,***5***）

スリープタイマー残り時間

（8）スリープタイマーを解除するには

★電源を切ると、スリープタイマーは解除されます。電源を切らずにスリープタイマーだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

1 スリープタイマー動作中に、TIMER/DELETE（リモコン）を押す。

2 10秒以内に ⊖ TUNING/PRESET ⊕（リモコン）を押して、"SLEEP OFF（スリープ オフ）"を選ぶ。

SLEEP OFF　SLEEP

3 10秒以内に ENTER（リモコン）を押す。

- スリープタイマーが解除されます。（"SLEEP（スリープ）"消灯）

タイマーの使いかた（つづき）

(9) スリープタイマーとタイマーを組み合わせて使う

1 **スリープタイマーを設定する。**

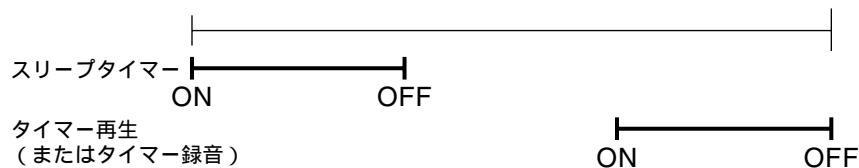
（☞ P.71の操作***1***～***5***）

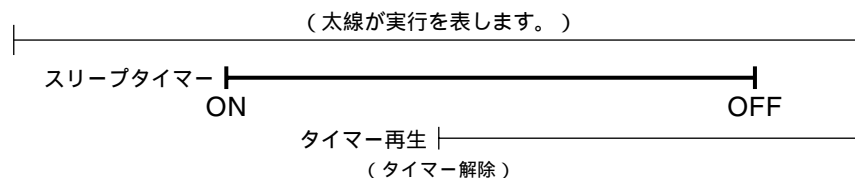
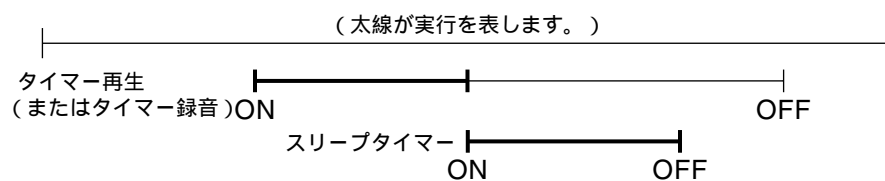
2 **タイマー再生またはタイマー録音を設定する。**

（☞ P.67の操作***1***～***12***）

（☞ P.69の操作***1***、***2***）

スリープタイマー ON OFF

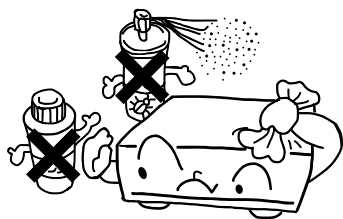
タイマー再生
（またはタイマー録音） ON OFF

(10) スリープタイマーとタイマーの優先順位について

★スリープタイマーがタイマー再生（またはタイマー録音）より優先されます。
　タイマー開始時間になると、タイマーは解除されます。

★タイマー再生（またはタイマー録音）中にスリープタイマーを設定すると、タイマー再生（またはタイマー録音）は解除されます。

22 お手入れについて

本体のお手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

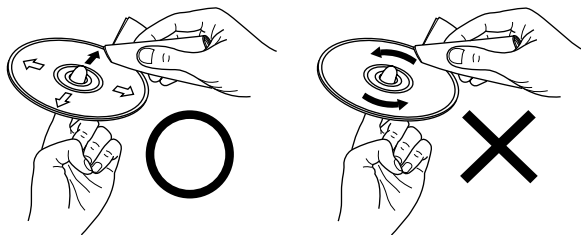
◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

ご注意

レコードプレーヤー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

CDのお手入れのしかた

■ CDに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。CDの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

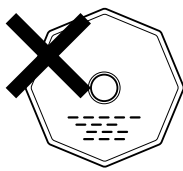
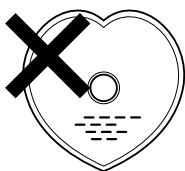
■ 拭き取るときは、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽く拭く。　円周に沿っては拭かない。

MDのお手入れのしかた

■ カートリッジの汚れやほこりなどは無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

23 CDやMDについて

CDについて

本機では、右のマークが入ったCDをご使用ください。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。
機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

CDの持ちかた

CDを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

取り扱いについてのご注意

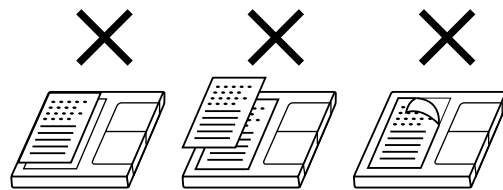
- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

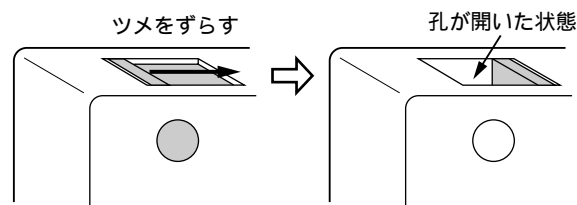
- 再生後は必ずCDを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気、ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

MDの取り扱いについて

MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。
次のことに注意してください。

◎ディスク面に直接触れないでください。
◎シャッターを手で開けないでください。
◎ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
◎直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。
◎カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

誤録音/誤消去防止ツメについて

再生/録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。
録音した内容を誤って消さないために、このツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。
再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。

24 MDの規格上の制約について

★MDの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

（1）曲数の制約

- 何も録音されていないMDやディスク名だけで何も録音されていないMDに1曲目から順次録音した場合は、最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると255曲まで録音できなくなることがあります。
- デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い（曲番は変わらない）になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

（2）録音機能の制約

- MDの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。
- 録音は、約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。
- MDに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。
- CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。
- 短い曲を消去してもMDの残り時間が増えないことがあります。これはMDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

（3）編集機能の制約

- 編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。
- CDから録音した曲（デジタル録音）とラジオ放送から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。
- 録音モード（標準録音（SP）、2倍長時間録音（LP2）、4倍長時間録音（LP4））が異なる曲をつなぐことはできません。
- 録音や編集を繰り返したMDでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

25 メッセージについて

メッセージ	内　容	処　置
BLANK MD（ブランク MD）	●何も記録されていない。（音楽もディスク名も記録されていない。）	●再生するときは、録音されたMDと取り替えてください。
Can't COPY（キャント コピー）	●コピー禁止のCDから録音しようとした。	●コピー可能なCDから録音してください。
Can't EDIT（キャント エディット）	●MDの編集ができない。	●別の曲を編集してみてください。
Can't READ※（キャント リード） （※は数字や記号です）	●ディスクに傷がある。 ●TOC情報が読めない。 ●規格外のCDまたはMD。 ●ディスクが表裏逆。	●CDまたはMDを入れ直すか、取り替えてください。 ●オールイレースをして、録音をやり直してください。
Can't REC（キャント レコード）	●ショックやディスクの傷で正しく録音できなかった。	●録音をやり直すか、MDを取り替えてみてください。
Can't T REC（キャント T レコード）	●タイマー録音ができない。またはMDに録音できる空きがない。	●他の録音用MDと取り替えてください。
Can't WRITE（キャント ライト）	●ショックやディスクの傷でTOC情報が正しく作成できない。	●電源を切って、もう一度書き込みをしてみてください。書き込み中はショックを与えないでください。
CD NO DISC（CD ノー ディスク）	●CDが入っていない。	●CDを入れてください。 ●CDをもう一度入れ直してください。
DISC FULL（ディスク フル）	●MDに録音できる空きがない。	●他の録音用MDと取り替えてください。
EDIT OVER（エディット オーバー）	●MDの録音時間が足りない。	●録音時間のあるMDと取り替えてください、
MECHA Err※※ （※※は数字や記号です）	●MDが正しく働いていない。	●MD ⏏を押してみてください。 ●電源を切って、再度電源を入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。
MD NO DISC（MD ノー ディスク）	●MDが入っていない。 ●MDのデータが読めない。	●MDを入れてください。 ●MDをもう一度入れ直してください。
NAME FULL（ネーム フル）	●ディスク名・曲名が40文字を超えている。	●ディスク名・曲名を短くしてください。
Not Audio（ノット オーディオ）	●オーディオ用でないデータが記録されている。	●MDを取り替えてください。
PLAYBACK MD（プレイバック MD）	●再生専用MDに録音や編集をしようとした。	●録音用MDと取り替えてください。
POWER?（パワー）	●MD動作が異常。	●電源を切って、再度電源を入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。
PROTECTED（プロテクテッド）	●MDの誤録音/誤消去防止ツメが開いている。	●誤録音/誤消去防止ツメを閉じてください。
TEMP OVER（テンプ オーバー）	●温度が高くなりすぎた。	●電源を切って、しばらく置いてください。
TOC FORM※※（トック フォーム） （※※は数字や記号です）	●記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、読めない。	●他のMDと取り替えてください。 ●オールイレースをして、録音をやり直してください。
TOC FULL（トック フル）	●曲番を登録する空きがない。	●他のMDと取り替えてください。
TOC FULL 1（トック フル）	●TOCに文字情報を登録する空きがない。	●他のMDと取り替えてください。 ●不要な文字を消してください。
WAIT※※mGUARD（ウェイト ガード） （※※は数字です）	●倍速での録音ができない。	●表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音してください。
Focus Err（フォーカス エラー） TOC Err S（トック エラー） TOC Err R（トック エラー） DISC ?（ディスク） TOC Err T（トック エラー）	●データに異常がある。 ●規格外のMDである。 ●MDが正しく入っていない。	●MD ⏏ボタンを押してください。 ●他のMDと取り替えてください。

26 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通部	電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	8
	スピーカーから音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンが差し込まれている。	●適当な音量にしてください。 ●ヘッドホンを外してください。	28 10
	リモコンが動作しない。	●乾電池が正しく入っていない。 ●乾電池が消耗している。	●乾電池を正しく入れ直してください。 ●新しい乾電池に入れ替えてください。	13 13
チューナー部	FM放送に“ザー”という音が入る。	●アンテナの方向が悪い。 ●放送局の電波が弱い。	●アンテナの方向を変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	9 9
	AM放送に“シー”や“ザー”という音が入る。	●テレビなどから雑音が入る。 ●放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM用ループアンテナの向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	ー 9 9
	AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
CDプレーヤー部	操作ボタンを押しても、動作しない。 曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。	●CDの裏表を間違えている。 ●ディスクホルダーの中に異物が入っている。 ●CDが汚れている。 ●CDに傷がある。	●CDを入れ直してください。 ●CDを取り出し、異物を取り除いてください。 ●CDをクリーニングしてください。 ●傷のないCDと交換してください。	17 ー 74、75 ー
	再生音が途切れる。	●CDにほこりや指紋、つばなどが付いている。 ●CDに傷がある。 ●振動の多い、不安定な場所に置いてある。	●CDをクリーニングしてください。 ●傷のないCDと交換してください。 ●振動の少ない安定した場所に置き換えてください。	74 ー ー
	再生音に“ブーン”という音が混じる。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー

故障かな？と思ったら（つづき）

	現　　象	原　　因	処　　置	関連ページ
MDレコーダー部	操作できない。	● MDが入っていない。 ● MDが損傷または汚れている。	● MDを入れてください。 ● 他のMDと取り替えてください。	21 —
	再生できない。	● MDに録音されていない。 （“BLANK MD”が表示されます。）	● 録音されているMDと取り替えてください。	77
	録音できない。	● MDが誤録音防止状態になっている。 （“PROTECTED”が表示されます。） ● MDに残り時間がない。 （“DISC FULL”が表示されます。） ● 255曲収録されたMDに録音しようとしている。 （“DISC FULL”が表示されます。） ● デジタル録音されたソースをデジタル録音しようとしている。 （“Can't COPY”が表示されます。）	● MDの誤録音防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ● MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ● MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ● SCMSにより、デジタル録音することはできません。	75 — — 35

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら（つづき）

結露現象について

■結露とは
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■結露が起こる条件は
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■結露後の処置は
◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

携帯電話使用時のご注意

■本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れたところでお使いください。

その他のご注意

■説明のためのイラストは、実際と異なる場合があります。

■取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

設置の際のご注意

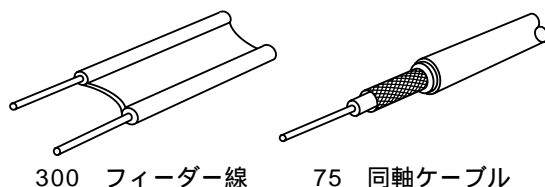
■放熱のため、本機の天面、後面および両側面を壁や他のAV機器などとは10cm以上離して設置してください。

■本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

◎本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

◎チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

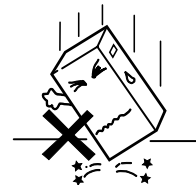
◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。

300Ωフィーダー線　75Ω同軸ケーブル

使わないときは

■ふだん使わないとき
◎電源を切ってください。

◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■移動させるとき
◎衝撃を与えないでください。

◎必ず電源プラグをコンセントから抜いて、接続コードなどを外したことを確認してからおこなってください。

27 主な仕様

■アンプ部

実用最大出力	フロントスピーカー　11W（5.5W+5.5W　EIAJ）
オーディオ入出力端子	外部入力端子、3.5mm ヘッドホン端子

■チューナー部

受信周波数帯域	FM：76MHz～108MHz AM：522kHz～1629kHz
受信感度	FM：1.5μV/75Ω AM：20μV
FMステレオ分離度	35dB（1kHz）

■CD部

ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%　W.peak）以下
標本化周波数	44.1kHz
光源	半導体レーザー

■MD部

形式	ミニディスク　デジタル　オーディオシステム
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%　W.peak）以下
標本化周波数	44.1kHz
音声圧縮/伸長方式	ATRAC/ATRAC3　24ビット演算方式
録音方式	磁気変調オーバーライト方式
光源	半導体レーザー

■時計・タイマー部

時計	月差　1分以内
タイマー	エブリディタイマー（1系統） ワンスタイマー（再生/録音　1系統） スリープタイマー（最大120分） （同時に複数のタイマーを設定することはできません。）

■共通部

電源	AC 100V　50/60Hz
消費電力	27W（電気用品安全法による） スタンバイ時　約0.8W
最大外形寸法	434（幅）×280（高さ）×165（奥行き）mm （フット、つまみ、端子を含む）
質量	5.8kg

■リモコン（RC-984）

リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC 3V　単3形乾電池2本使用
最大外形寸法	49（幅）×140（高さ）×30（奥行き）mm
質量	120g（乾電池を含む）

＊EIAJ規格とは、（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノン

本　　　社　　　〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-11

お客様相談センター　TEL：（03）3837-8919

受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購 入 店 名：	電　話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　　年　　　月　　　日	

Printed in China　　511 4219 009